

# 学校建築設備定期点検業務仕様書

## 1 目的

本委託は、建築基準法第12条第3項等に基づき、川崎市立学校の建築設備の定期点検を行うものである。

## 2 履行場所 川崎市立学校（別添の点検実施校一覧のとおり

## 3 履行期間 令和7年4月1日から令和8年2月6日まで

## 4 業務内容

- (1) 建築基準法第12条第4項等に基づき、学校内の建築設備について、一級建築士、二級建築士又は建築設備等検査員のいずれかの資格を有する者が点検を行い、学校ごとに報告書を作成する。
- (2) 契約締結後、点検に関する資格を証明する書類を提出すること。
- (3) 対象校の設備は別途送付する「学校設備等一覧」を参照すること。なお、項目に「対象外」各設備が空欄としていても、点検の際に検査対象となる建物や点検対象の設置が確認された場合は点検を実施すること。
- (4) 各校において、年1回点検を実施すること。
- (5) 点検結果等の報告書を作成し、提出すること。

## 5 報告書等の作成・提出

- (1) 点検の結果については各学校へ配布する為、A4ファイルを用意し、学校毎の報告書等を出力したものをファイルに綴じて、発注者に提出すること。  
※要是正とされた検査項目等に関する写真については、撮影場所(別途送付する「学校設備等一覧」に記載の棟番号等を記載すること)、指摘箇所等が分かるよう、必ず説明を付けること。
- (2) 「学校設備等一覧」に、点検日、要修繕箇所や特記事項等を追記するとともに、点検結果に基づき、更新した内容がわかるように「学校設備等一覧」を作成・編集し、印刷物及び電子データで提出すること。
- (3) 電子データ（エクセル等）により、全ての結果等をメールにて、発注者に提出すること。

## 6 業務実施上の注意事項

- (1) 業務実施1ヶ月前に、実施予定日を一覧表にして日程・時間を発注者に連絡すること。なお、学校側の都合により予定日を変更いただく場合がありますのでご了承ください。また、業務実施日は、原則として学校閉庁日（土曜日・日曜日・祝日、夏季学校閉庁日等）を除きます。
- (2) 実施に当たっては学校運営に支障のないように留意し、周囲の安全に十分配慮すること。
- (3) 施設へ出入りの際は、施設管理者に必ず事前に届け、名札の着用等、学校の指示に従うこと。
- (4) 本委託業務の内容に疑義が生じた場合は、発注者と協議すること。
- (5) 本業務において知り得た事項は、許可なく使用、あるいは第三者に提供してはならない。

# 点検実施校一覧

	学校名	所在地	備考
1	川崎市立長沢小学校	川崎市麻生区東百合丘 2 丁目 24 番 7 号	
2	川崎市立西生田小学校	川崎市麻生区細山 2 丁目 2 番 1 号	
3	川崎市立千代ヶ丘小学校	川崎市麻生区千代ヶ丘 8 丁目 9 番 1 号	
4	川崎市立金程小学校	川崎市麻生区金程 2 丁目 10 番 1 号	
5	川崎市立百合丘小学校	川崎市麻生区百合丘 2 丁目 1 番地 2	
6	川崎市立南百合丘小学校	川崎市麻生区王禅寺西 1 丁目 26 番 1 号	
7	川崎市立麻生小学校	川崎市麻生区上麻生 3 丁目 24 番 1 号	
8	川崎市立東柿生小学校	川崎市麻生区王禅寺東 6 丁目 3 番 1 号	
9	川崎市立王禅寺中央小学校	川崎市麻生区王禅寺東 4 丁目 14 番 1 号	
10	川崎市立真福寺小学校	川崎市麻生区白山 5 丁目 3 番 1 号	
11	川崎市立虹ヶ丘小学校	川崎市麻生区虹ヶ丘 1 丁目 21 番 2 号	
12	川崎市立柿生小学校	川崎市麻生区片平 3 丁目 3 番 1 号	柿生分館を含む
13	川崎市立岡上小学校	川崎市麻生区岡上 675 番地 1	
14	川崎市立片平小学校	川崎市麻生区片平 5 丁目 28 番 1 号	
15	川崎市立栗木台小学校	川崎市麻生区栗木台 5 丁目 15 番 1 号	
16	川崎市立西生田中学校	川崎市麻生区高石 3 丁目 25 番 1 号	
17	川崎市立金程中学校	川崎市麻生区金程 3 丁目 16 番 1 号	
18	川崎市立長沢中学校	川崎市麻生区東百合丘 4 丁目 12 番 1 号	
19	川崎市立麻生中学校	川崎市麻生区上麻生 4 丁目 39 番 1 号	
20	川崎市立柿生中学校	川崎市麻生区上麻生 6 丁目 40 番 1 号	
21	川崎市立王禅寺中央中学校	川崎市麻生区王禅寺東 4 丁目 14 番 2 号	
22	川崎市立白鳥中学校	川崎市麻生区白鳥 1 丁目 5 番 1 号	
23	川崎市立はるひ野小学校	川崎市麻生区はるひ野 4 丁目 8 番 1 号	
24	川崎市立はるひ野中学校	川崎市麻生区はるひ野 4 丁目 8 番 1 号	

## 建築設備定期点検 学校設備等一覧

No.	学校名	建物名称	構造	階数	換気設備	非常用照明設備	排煙設備	備考
1	長沢小学校	管理・特別・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		管理・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		管理・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		管理・特別・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		屋内運動場	鉄骨その他造	2				
2	西生田小学校	管理・特別・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○	○		水道直結増圧給水方式
		普通・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○	○		
		体育館	鉄筋コンクリート造	2	○	○		
3	千代ヶ丘小学校	管理・特別・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			水道直結増圧給水方式
		給食室	鉄筋コンクリート造	1	○			
		管理・特別・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		管理・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
			鉄筋コンクリート造	2	○			
		屋内運動場	鉄骨その他造	2				
4	金程小学校	特別教室棟	鉄骨その他造	1				
		管理・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		特別教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		給食室	鉄筋コンクリート造	1	○			
5	百合丘小学校	体育館	鉄筋コンクリート造	2				
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	5	○			
		特別教室棟	鉄筋コンクリート造	5	○			
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	5	○			
		体育館	鉄筋コンクリート造	2	○			
6	南百合丘小学校	管理・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			水道直結増圧給水方式
		管理・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		管理・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		給食休憩室	鉄骨その他造	1				
		特別教室棟	鉄筋コンクリート造	2	○			
		屋内運動場	鉄骨その他造	2				
		管理・特別・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
7	麻生小学校	管理・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	2	○	○		
		普通・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○	○		
		プール専用付属室	鉄筋コンクリート造	3	○	○		
		屋内運動場	鉄筋コンクリート造	2				
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		普通・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		普通・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	2	○			
8	東柿生小学校	管理・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		管理・特別・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		管理・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		普通・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		管理棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		特別教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		体育館	鉄筋コンクリート造	2	○			
		管理・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		管理・特別・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		給食室	木造	1	○			
		管理・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			

9	王禅寺中央小学校	普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		ボイラー室	鉄筋コンクリート造	1				
		給食室	鉄筋コンクリート造	4	○			
		渡り廊下	鉄骨その他造	3				
		交流棟	鉄筋コンクリート造	3	○	○		
		屋内運動場	鉄骨その他造	2				
10	真福寺小学校	普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	2	○			
		体育館	鉄筋コンクリート造	2				
11	虹ヶ丘小学校	普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		屋内運動場	鉄骨その他造	2				
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
12	柿生小学校	管理・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		特別教室棟・プール専用付属室	鉄筋コンクリート造	4	○			
		屋内運動場	鉄筋コンクリート造	2	○			
		屋内運動場	鉄筋コンクリート造	2	○			
		用務員作業所	鉄筋コンクリート造	1	○			
		体育倉庫	鉄骨その他造	1				
13	岡上小学校	管理・特別・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		体育館	鉄筋コンクリート造	2				
14	片平小学校	普通教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		特別教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		体育館	鉄筋コンクリート造	2				
		管理・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	2				
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	2				
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	2				
15	栗木台小学校	普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		管理・特別・普通教室棟(1F)	鉄筋コンクリート造	1	○			
		体育館	鉄筋コンクリート造	2				
16	西生田中学校	特別教室棟	鉄骨その他造	1				
		管理・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○	○		
		管理・特別・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○	○		
		普通・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○	○		
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○	○		
		普通・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	4				
		屋内運動場	鉄骨その他造	2				
		屋内運動場付属棟	鉄骨その他造	1				
		用務員作業室	鉄骨その他造	1				

17	金程中学校	管理・特別・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		特別教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		体育館	鉄骨その他造	2				
		武道場	鉄骨その他造	1				
18	長沢中学校	普通・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		屋内運動場	鉄骨その他造	2				
		特別教室棟	鉄骨その他造	1				
		管理・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		渡り廊下	鉄筋コンクリート造	2				
		エレベータ	鉄筋コンクリート造	4				
19	麻生中学校	管理・普通教室棟・プール専用付属室	鉄筋コンクリート造	4	○			
		特別教室棟	鉄筋コンクリート造	2	○			
		体育館	鉄筋コンクリート造	2				
		格技室	鉄骨その他造	1				
		体育倉庫	鉄筋コンクリート造	1				
		部室	鉄筋コンクリート造	1				
20	柿生中学校	特別教室棟	鉄筋コンクリート造	4				
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4				
		特別教室棟	鉄筋コンクリート造	4				
		体育館	鉄筋コンクリート造	4				
		屋外エレベータ	鉄筋コンクリート造	2				
21	王禅寺中央中学校	管理・特別・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○			
		屋内運動場	鉄骨その他造	2				
		特別教室棟	鉄筋コンクリート造	3	○			
		格技室	鉄骨その他造	1				
22	白鳥中学校	管理・特別・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○	○		
		屋内運動場	鉄骨その他造	2				
		管理・特別・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○	○		
		格技室	鉄骨その他造	1				
		倉庫・便所	鉄骨その他造	2				
		部室	鉄骨その他造	2				
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4				
23	はるひ野小学校	特別教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○	○	○	屋内運動場・プール専用付属室・地域・学校連携施設は中学校の方に計上
		管理・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○	○	○	
		普通・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○	○	○	
		普通・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○	○	○	
		管理・普通教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○	○	○	
		普通教室棟	鉄筋コンクリート造	2	○	○	○	
24	はるひ野中学校	特別教室棟・プール専用付属室、屋内運動場・地域・学校連携施設	鉄筋コンクリート造	4	○	○	○	
		管理・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○	○	○	
		普通・特別教室棟	鉄筋コンクリート造	4	○	○	○	
		管理・特別教室棟、屋内運動場、格技室	鉄筋コンクリート造	4	○	○	○	

(受託者→学校→受託者→発注者→教育環境整備推進室)

## 作業完了報告書

令和 年 月 日

学 校 長 様

(受託者)

所 在 地 \_\_\_\_\_

名 称 \_\_\_\_\_

代表者氏名 \_\_\_\_\_ 印

業務名 学校建築設備点検業務 ( \_\_\_\_\_ 小 ・ 中 学校) \_\_\_\_\_

が、完了しましたので、報告いたします。

上記の業務について、完了したことを確認しました。

令和 年 月 日

川崎市立 \_\_\_\_\_ 学校長 \_\_\_\_\_

建築設備（昇降機を除く。）の検査方法及び判定基準

建築設備等の検査方法及び判定基準は、平成20年国土交通省告示第285号に示されている。

(換気設備)

別表第一

	(い)検査項目		(ろ)検査事項	(は)検査方法	(に)判定基準
1	法第28条第2項又は第3項の規定に基づき換気設備が設けられた居室(換気設備を設けるべき調理室等を除く。)				
(1)	機械換気設備(中央管理方式の空気調和設備を含む)の外観		給気機の外気取入口並びに直接外気に開放された給気口及び排気口への雨水の侵入等の防止措置の状況	目視により確認する。	建築基準法施行令第129条の2の5第2項第3号の規定に適合しないこと。
(2)			給気機の外気取入口及び排気機の排気口の取付けの状況	目視又は触診により確認する。	取付けが堅固でないこと又は著しい腐食、損傷等があること。
(3)			各居室の給気口及び排気口の設置位置	給気口及び排気口の位置関係を目視及び設計図書等により確認するとともに、必要に応じて気流方向を気流検知器等を用いて確認する。	著しく局部的な空気の流れが生じていること。
(4)			各居室の給気口及び排気口の取付けの状況	目視又は触診により確認する。	取付けが堅固でないこと又は著しい腐食、損傷等があること。
(5)			風道の取付けの状況	目視又は触診により確認する。	風道の接続部に損傷があり空気が漏れていること又は取付けが堅固でないこと。
(6)			風道の材質	目視又は触診により確認する。	令第129条の2の5第2項第5号の規定に適合しないこと。
(7)			給気機又は排気機の設置の状況	目視又は触診により確認する。	機器に損傷があること、取付けが堅固でないこと又は著しい腐食、損傷等があること。
(8)			換気扇による換気の状況	目視により確認する。	外気の流れにより著しく換気能力が低下する構造となっていること。
(9)	機械換気設備	機械換気設備(中央管理方式の空気調和設備を含む)の性能	各居室の換気量	給気口の同一断面内から5箇所を偏りなく抽出し、風速計を用いて風速を測定し、次の式により換気量を算出する。ただし、風速の測定が困難な場合にあっては、在室者がほぼ設計定員の状態において、還気の二酸化炭素含有率又は還気と外気の二酸化炭素含有率の差を検知管法又はこれと同等以上の測定方法により確認する。  $V = 3600 \nu AC$ この式においてV、 $\nu$ 、A及びCは、それぞれ次の数値を表すものとする。 V 換気量(単位 $\text{m}^3/\text{h}$ ) $\nu$ 平均風速(単位 $\text{m}/\text{s}$ ) A 給気口断面積(単位 $\text{m}^2$ ) C 次の式により計算した給気量に対する外気の混合比  $C = V2 / V1$ この式においてV1及びV2は、それぞれ次の数値を表すものとする。 V1 空気調和設備の送風空気量(単位 $\text{m}^3/\text{h}$ ) V2 空気調和設備への取り入れ外気量(単位 $\text{m}^3/\text{h}$ )	令第20条の2第1号ロ若しくはハの規定に適合しないこと又は風速の測定が困難な場合にあっては、次のイ若しくはロのいずれかに該当すること。  イ 還気の二酸化炭素含有率を確認した場合にあっては、還気の二酸化炭素含有率が100万分の1000を超えていること。  ロ 還気と外気の二酸化炭素含有率の差を確認した場合にあっては、還気と外気の二酸化炭素含有率の差が100万分の650を超えていること。
(10)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	中央管理室において制御及び作動の状況を確認する。	中央管理室において制御又は作動の状況を確認できないこと。

	(い) 検査項目		(ろ) 検査事項	(は) 検査方法	(に) 判定基準
(11)	中央管理方式の空気調和設備	空気調和設備の主要機器及び配管の外観	空気調和設備の設置の状況	目視又は触診により確認する。	取付けが堅固でないこと又は著しい腐食、損傷等があること。
(12)			空気調和設備及び配管の劣化及び損傷の状況	目視により確認する。	空気調和機器又は配管に変形、破損又は著しい腐食があること。
(13)			空気調和設備の運転の状況	目視又は触診により確認する。	運転時に異常な音、異常な振動又は異常な発熱があること。
(14)			空気ろ過器の点検口	目視により確認する。	昭和45年建設省告示第1832号第4号の規定に適合しないこと又は点検用の十分な空間が確保されていないこと。
(15)			冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離	目視により確認するとともに、必要に応じ鋼製巻尺等により測定する。	令第129条の2の6第2号の規定に適合しないこと。
(16)		空気調和設備の性能	各居室の温度	居室の中央付近において温度計により測定する。	令第129条の2の5第3項の表四項の規定に適合しないこと。
(17)			各居室の相対湿度	居室の中央付近において湿度計により測定する。	令第129条の2の5第3項の表五項の規定に適合しないこと。
(18)			各居室の浮遊粉じん量	居室の中央付近において粉じん計により測定する。	令第129条の2の5第3項の表(一)項の規定に適合しないこと。
(19)			各居室の一酸化炭素含有率	居室の中央付近においてガス検知管等により測定する。	令第129条の2の5第3項の表(二)項の規定に適合しないこと。
(20)			各居室の二酸化炭素含有率	居室の中央付近においてガス検知管等により測定する。	令第129条の2の5第3項の表(三)項の規定に適合しないこと。
(21)			各居室の気流	居室の中央付近において風速計により測定する。	令第129条の2の5第3項の表(六)項の規定に適合しないこと。
2	換気設備を設けるべき調理室等				
(1)	自然換気設備及び機械換気設備	排気筒、排気フード及び煙突の材質	目視又は触診により確認する。	不燃材でないこと。	
(2)		排気筒、排気フード及び煙突の取付けの状況	目視又は触診により確認する。	取付けが堅固でないこと又は著しい腐食、損傷等があること。	
(3)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の大きさ	目視により確認するとともに、必要に応じて鋼製巻尺等により測定する。	令第20条の3第2項第1号イ(3)、(4)、(6)又は(7)の規定に適合しないこと。	
(4)		給気口、排気口及び排気フードの位置	目視により確認するとともに、必要に応じて鋼製巻尺等により測定する。	令第20条の3第2項第1号イ(1)又は(2)の規定に適合しないこと。	
(5)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の設置の状況	目視又は触診により確認する。	鳥の巣等により給排気が妨げられていること。	
(6)		排気筒及び煙突の断熱の状況	目視又は触診により確認する。	断熱材に脱落又は損傷があること。	
(7)		排気筒及び煙突と可燃物、電線等との離隔距離	目視により確認するとともに、必要に応じて鋼製巻尺等により測定する。	令第115条第1項第3号イ(2)又は第2項の規定に適合しないこと。	
(8)		煙突等への防火ダンパー、風道等の設置の状況	目視又は触診により確認する。	昭和45年建設省告示第1826号第4第2号又は第3号の規定に適合しないこと。	
(9)	自然換気設備	煙突の先端の立ち上がりの状況(密閉型燃焼器具の煙突を除く)	目視により確認するとともに、必要に応じて鋼製巻尺等により測定する。	令第115条第1項第1号又は第2号の規定に適合しないこと。	
(10)	機械換気設備	煙突に連結した排気筒及び半密閉式瞬間湯沸器等の設置の状況	目視により確認する。	昭和45年建設省告示第1826号第4第4号の規定に適合しないこと。	
(11)		換気扇による換気の状況	目視により確認する。	外気の流れにより著しく換気能力が低下する構造となっていること。	
(12)		給気機又は排気機の設置の状況	目視又は触診により確認する。	機器に損傷があること、取付けが堅固でないこと又は著しい腐食、損傷等があること。	
(13)		機械換気設備の換気量	排気口の同一断面内から5箇所を偏りなく抽出し、風速計を用いて風速を測定し、次の式により換気量を算出する。 V=3600 ν A この式においてV、ν 及びAは、それぞれ次の数値を表すものとする。 V 換気量(単位 m <sup>3</sup> /h) ν 平均風速(単位 m/s) A 開口断面積(単位 m <sup>2</sup> )	令第20条の3第2項第1号イ又は昭和45年建設省告示第1826号第3の規定に適合しないこと。	



	(い)検査項目	(ろ)検査事項	(は)検査方法	(に)判定基準
3	法第28条第2項又は第3項の規定に基づき換気設備が設けられた居室等			
(1)	防火ダンパー等 (外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。)	防火ダンパーの設置の状況	設計図書等により確認するとともに、目視により確認する。	令第112条第21項の規定に適合しないこと。
(2)		防火ダンパーの取付けの状況	目視又は触診により確認する。	平成12年建設省告示第1376号第1の規定に適合しないこと又は著しい腐食があること。
(3)		防火ダンパーの作動の状況	作動の状況を確認する。	ダンパーが円滑に作動しないこと。
(4)		防火ダンパーの劣化及び損傷の状況	目視又は触診により確認する。	防火ダンパー本体に破損又は著しい腐食があること。
(5)		防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無	目視により確認する。	平成12年建設省告示第1376号第3の規定に適合しないこと。
(6)		防火ダンパーの温度ヒューズ	目視により確認する。	適正な溶解温度の温度ヒューズを使用していないこと。
(7)		壁及び床の防火区画貫通部の措置の状況	目視により確認する	平成12年建設省告示第1376号第2の規定に適合しないこと。
(8)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器の位置	目視により確認するとともに、必要に応じて鋼製巻尺等により測定する。	煙感知器又は熱煙複合式感知器にあつては昭和48年建設省告示第2563号第1第2号ニ(2)に適合しないこと。 熱感知器にあつては昭和48年建設省告示第2563号第2第2号ロ(2)の規定に適合しないこと。
(9)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器との連動の状況	発煙試験器、加熱試験器等により作動の状況を確認する。	感知器と連動して作動しないこと。
次の表の左欄に掲げる項目については、それぞれ同表の右欄に掲げる記録がある場合には、(は)欄に掲げる検査方法にかかわらず、当該記録により確認することで足りる。				
項目			記録	
1(3)、(9)、(16)～(21)、 2(13)、 3(9)			前回の検査後にそれぞれ(は)欄に掲げる検査方法と同等の方法で実施した検査等の記録	
1(1)、(2)、(5)～(8)、(10)～(12)、(14)、(15)			前回の検査後にそれぞれ(は)欄に掲げる検査方法と同等の方法で1級建築士、2級建築士又は建築設備検査員(以下「1級建築士等」という。)が実施した検査の記録	
1(4)、(13)			前回の検査後にそれぞれ(は)欄に掲げる検査方法と同等の方法で1級建築士等が実施した検査の記録又は前回の検査後に建築基準法令以外の法令の規定に基づき実施した点検等の記録(建築物における衛生的環境の確保に関する法律(昭和45年法律第20号))	

建築設備（昇降機を除く。）の検査方法及び判定基準

建築設備等の検査方法及び判定基準は、平成20年国土交通省告示第285号に示されている。

(排煙設備)  
別表第二

	(い)検査項目		(ろ)検査事項	(は)検査方法	(に)判定基準
1	令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー、令第126条の2第1項に規定する居室等				
(1)	排煙機	排煙機の外観	排煙機の設置の状況	目視又は触診により確認する。	基礎架台の取付けが堅固でないこと又は著しい腐食があること。
(2)			排煙風道との接続の状況	目視により確認する。	接続部に破損又は変形があること。
(3)			煙排出口の設置の状況	目視により確認する。	排出された煙により他への影響のおそれがあること。
(4)			煙排出口の周囲の状況	目視により確認する。	煙の排出を妨げる障害物があること。
(5)			屋外に設置された煙排出口への雨水等の防止措置の状況	目視により確認する。	浸入した雨水等を排出できないこと。
(6)		排煙機の性能	排煙口の開放との連動起動の状況	作動の状況を確認する。	排煙口と連動して排煙機が作動しないこと。
(7)			作動の状況	聴診又は触診により確認する。	排煙機の運転時の電動機又は送風機に異常な音又は異常な振動があること。
(8)			電源を必要とする排煙機の前備電源による作動の状況	予備電源により作動の状況を確認する。	予備電源により作動しないこと。
(9)			排煙機の排煙風量	煙排出口の同一断面内から5箇所を偏りなく抽出し、風速計を用いて1点につき30秒以上継続して風速を測定し、次の式により排煙風量を算出する。  $Q=60AVm$ この式において、Q、A及びVmは、それぞれ次の数値を表すものとする。 Q 排煙風量(単位 m <sup>3</sup> /min) A 煙排出口面積(単位 m <sup>2</sup> ) Vm 平均風速(単位 m/s)	令第123条第3項第2号若しくは令第129条の13の第13項(これらの規定中国土交通大臣が定めた構造方法のうち排煙機に係る部分に限る。)又は、令第126条の3第1項第9号(令第128条の7第1項の規定が適用され、かつ区画避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては、令第126条の3第1項第9号を、令第129条第1項又は令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合にあっては、令第123条第3項第2号及び令第126条の3第1項第9号を除く。)の規定に適合しないこと。
(10)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	中央管理室において制御及び作動の状況を確認する。	中央管理室において制御又は作動の状況を確認できないこと。
(11)	排煙口	機械排煙設備の排煙口の外観	排煙口の位置	目視により確認する。	平成12年建設省告示第1436号第3号又は令第126条の3第1項第3号の規定に適合しないこと。 ただし、令第128条の7第1項、令第129条第1項又は令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、区画避難安全性能、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。
(12)			排煙口の周囲の状況	目視により確認する。	排煙口の周囲に開放を妨げる障害物があること。
(13)			排煙口の取付けの状況	目視により確認する。	取付けが堅固でないこと又は著しい腐食、損傷等があること。
(14)			手動開放装置の周囲の状況	目視により確認する。	周囲に障害物があり操作できないこと。

	(い)検査項目		(ろ)検査事項	(は)検査方法	(に)判定基準
(15)	排煙口	機械排煙設備の排煙口の外観	手動開放装置の操作方法の表示の状況	目視により確認する。	令第126条の3第1項第5号の規定に適合しないこと。 ただし、令第128条の7第1項、令第129条第1項又は令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、区画避難安全性能、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。
(16)		機械排煙設備の排煙口の性能	手動開放装置による開放の状況	作動の状況を確認する。	排煙口の開放が手動開放装置と連動していないこと。
(17)			排煙口の開放の状況	目視又は聴診により確認する。	常時閉鎖状態を保持し開放時気流により閉鎖すること又は著しい振動があること。
(18)			排煙口の排煙風量	排煙口の同一断面内から5箇所を偏りなく抽出し、風速計を用いて1点につき30秒以上継続して風速を測定し、次の式により排煙風量を算出する。 $Q=60AV_m$ この式において、Q、A及びV <sub>m</sub> は、それぞれ次の数値を表すものとする。 Q 排煙風量(単位 m <sup>3</sup> /min) A 排煙口面積(単位 m <sup>2</sup> ) V <sub>m</sub> 平均風速(単位 m/s)	令第126条の3第1項第9号の規定に適合しないこと。 ただし、令第128条の7第1項、令第129条第1項又は令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、区画避難安全性能、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。
(19)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	中央管理室において制御及び作動の状況を確認する。	中央管理室において制御又は作動の状況を確認できないこと。
(20)			煙感知器による作動の状況	発煙試験器等により作動の状況を確認する。	排煙口が連動して開放しないこと。
(21)	排煙風道	機械排煙設備の排煙風道(隠蔽部分及び埋設部分を除く)	排煙風道の劣化及び損傷の状況	目視により確認する。	排煙風道に変形、破損又は著しい腐食があること。
(22)			排煙風道の取付けの状況	目視又は触診により確認する。	接続部及び吊りボルトの取付けが堅固でないこと又は変形若しくは破損があること。
(23)			排煙風道の材質	目視により確認する。	令第126条の3第1項第2号の規定に適合しないこと。 ただし、令第128条の7第1項、令第129条第1項又は令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、区画避難安全性能、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。
(24)			防煙壁の貫通措置の状況	目視により確認する。	令第126条の3第1項第7号の規定に適合しないこと。 ただし、令第128条の7第1項、令第129条第1項又は令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、区画避難安全性能、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。
(25)			排煙風道と可燃物、電線等との離隔距離及び断熱の状況	目視により確認するとともに、必要に応じて鋼製巻尺等により測定する。	断熱材に脱落又は損傷があること又は令第126条の3第1項第7号で準用する令第115条第1項第3号イ(2)の規定に適合しないこと。 ただし、令第128条の7第1項、令第129条第1項又は令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、区画避難安全性能、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。

	(い)検査項目		(ろ)検査事項	(は)検査方法	(に)判定基準
(26)	排煙風道	防火ダンパー(外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。)	防火ダンパーの取付けの状況	目視又は触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。
(27)			防火ダンパーの作動の状況	作動の状況を確認する。	ダンパーが円滑に作動しないこと。
(28)			防火ダンパーの劣化及び損傷の状況	目視又は触診により確認する。	防火ダンパー本体に破損又は著しい腐食があること。
(29)			防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無	目視により確認する。	天井、壁等に一辺の長さが45センチメートル以上の保守点検が容易に行える点検口並びに防火設備の開閉及び作動状態を確認できる検査口が設けられていないこと。
(30)			防火ダンパーの温度ヒューズ	目視により確認する。	適正な溶解温度の温度ヒューズを使用していないこと。
(31)			壁及び床の防火区画貫通部の措置の状況(防火ダンパーが令第112条第20項に規定する準耐火構造の防火区画を貫通する部分に近接する部分に設けられている場合に限る。)	目視により確認する。	防火ダンパーと防火区画との間の風道が厚さ1.5ミリメートル以上の鉄板で造られていないこと又は鉄網モルタル塗その他の不燃材料で被覆されていないこと。
(32)	特殊な構造の排煙設備	特殊な構造の排煙設備の排煙口及び給気口の外観	排煙口及び給気口の大きさ及び位置	目視により確認する。	平成12年建設省告示第1437号第1号ロ又はハ及び第2号ロ又はハの規定に適合しないこと。 ただし、令第128条の7第1項、令第129条第1項又は令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、区画避難安全性能、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。
(33)			排煙口及び給気口の周囲の状況	目視により確認する。	周囲に排煙又は給気を妨げる障害物があること。
(34)			排煙口及び給気口の取付けの状況	目視により確認する。	取付けが堅固でないこと又は著しい腐食、損傷等があること。
(35)			手動開放装置の周囲の状況	目視により確認する。	周囲に障害物があり操作できないこと。
(36)			手動開放装置の操作方法の表示の状況	目視により確認する。	令第126条の3第1項第5号の規定に適合しないこと。 ただし、令第128条の7第1項、令第129条第1項又は令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、区画避難安全性能、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。
(37)		特殊な構造の排煙設備の排煙口の性能	排煙口の排煙風量	排煙口の同一断面内から5箇所を偏りなく抽出し、風速計を用いて1点につき30秒以上継続して風速を測定し、次の式により排煙風量を算出する。 $Q=60AV_m$ この式において、Q、A及びV <sub>m</sub> は、それぞれ次の数値を表すものとする。 Q 排煙風量(単位 m <sup>3</sup> /min) A 排煙口面積(単位 m <sup>2</sup> ) V <sub>m</sub> 平均風速(単位 m/s)	令第126条の3第2項の規定に適合しないこと。 ただし、令第128条の7第1項、令第129条第1項又は令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、区画避難安全性能、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。
(38)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	中央管理室において制御及び作動の状況を確認する。	中央管理室において制御又は作動の状況を確認できないこと。
(39)			煙感知器による作動の状況	発煙試験器等により作動の状況を確認する。	排煙口が連動して開放しないこと。

	(い)検査項目	(ろ)検査事項	(は)検査方法	(に)判定基準
(40)	特殊な構造の排煙設備の給気風道(隠蔽部分及び埋設部分を除く)	給気風道の劣化及び損傷の状況	目視により確認する。	給気風道に変形、破損又は著しい腐食があること。
(41)		給気風道の材質	目視により確認する。	令第126条の3第1項第2号の規定に適合しないこと。 ただし、令第128条の7第1項、令第129条第1項又は令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、区画避難安全性能、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。
(42)		給気風道の取付けの状況	目視又は触診により確認する。	接続部及び吊りボルトの取付けが堅固でないこと又は変形若しくは破損があること。
(43)		防煙壁の貫通措置の状況	目視により確認する。	令第126条の3第1項第7号の規定に適合しないこと。 ただし、令第128条の7第1項、令第129条第1項又は令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、区画避難安全性能、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。
(44)	特殊な構造の排煙設備の給気送風機の外観	給気送風機の設置の状況	目視又は触診により確認する。	基礎架台の取付けが堅固でないこと又は著しい腐食、損傷等があること。
(45)		給気風道との接続の状況	目視により確認する。	接続部に空気漏れ、破損又は変形があること。
(46)	特殊な構造の排煙設備	排煙口の開放と連動起動の状況	作動の状況を確認する。	令第126条の3第2項の規定に適合しないこと。 ただし、令第128条の7第1項、令第129条第1項又は令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、区画避難安全性能、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。
(47)		作動の状況	聴診又は触診により確認する。	送風機の運転時の電動機又は送風機に異常な音又は異常な振動があること。
(48)		電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況	予備電源により作動の状況を確認する。	予備電源により作動しないこと。
(49)		給気送風機の給気風量	給気口の同一断面内から5箇所を偏りなく抽出し、風速計を用いて1点につき30秒以上継続して風速を測定し、次の式により給気風量を算出する。 $Q=60AV_m$ この式において、Q、A及びV <sub>m</sub> は、それぞれ次の数値を表すものとする。 Q 給気風量(単位 m <sup>3</sup> /min) A 吸込口面積(単位 m <sup>2</sup> ) V <sub>m</sub> 平均風速(単位 m/s)	令第126条の3第2項の規定に適合しないこと。 ただし、令第128条の7第1項、令第129条第1項又は令第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、区画避難安全性能、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。
(50)		中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	中央管理室において制御及び作動の状況を確認する。	中央管理室において制御又は作動の状況を確認できないこと。
(51)	特殊な構造の排煙設備の給気送風機の吸込口	吸込口の設置位置	目視により確認する。	排煙設備の煙排出口等の開口部に近接していること又は吸込口が延焼のおそれのある位置に設置されていること。
(52)		吸込口の周囲の状況	目視により確認する。	周囲に給気を妨げる障害物があること。
(53)		屋外に設置された吸込口への雨水等の防止措置の状況	目視により確認する。	浸入した雨水等を排出できないこと。



	(い)検査項目	(ろ)検査事項	(は)検査方法	(に)判定基準
2	令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー			
(1)	特別避難階段の階段室又は付室及び非常用エレベーターの昇降路又は乗降ロビーに設ける排煙口及び給気口	排煙機、排煙口及び給気口の作動の状況	作動の状況を確認する。	連動して作動しないこと。
(2)		給気口の周囲の状況	目視により確認する。	周囲に給気を妨げる障害物があること。
(3)	排煙風道 (隠蔽部分及び埋設部分を除く。)	排煙風道の劣化及び損傷の状況	目視により確認する。	排煙風道に変形、破損又は著しい腐食があること
(4)		排煙風道の取付けの状況	目視又は触診により確認する。	接続部及び吊りボルトの取付けが堅固でないこと又は変形若しくは破損があること。
(5)		排煙風道の材質	目視により確認する。	不燃材料で造られていないこと。ただし、令第129条第1項又は第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。
(6)	給気口の外観	給気口の周囲の状況	目視により確認する。	周囲に給気を妨げる障害物があること。
(7)		給気口の取付けの状況	目視により確認する。	取付けが堅固でないこと又は著しい腐食、破損等があること。
(8)		給気口の手動開放装置の周囲の状況	目視により確認する。	周囲に障害物があり操作できないこと。
(9)		給気口の手動開放装置の操作方法の表示の状況	目視により確認する。	平成28年国土交通省告示第696号第5号イ(2)(i)の規定に適合しないこと。ただし、令第129条第1項又は第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。
(10)		給気口の手動開放装置による開放の状況	作動の状況を確認する。	手動開放装置と連動して給気口が開放していないこと。
(11)	給気口の性能	給気口の開放の状況	目視又は聴診により確認する。	開放時に気流により閉鎖すること又は著しい振動があること。
(12)	給気風道 (隠蔽部分及び埋設部分を除く。)	給気風道の劣化及び損傷の状況	目視により確認する。	給気風道に変形、破損又は著しい腐食があること。
(13)		給気風道の取付けの状況	目視又は触診により確認する。	接続部及び吊りボルトの取付けが堅固でないこと又は変形若しくは破損があること。
(14)		給気風道の材質	目視により確認する。	不燃材料で造られていないこと。ただし、令第129条第1項又は第129条の2第1項の規定が適用され、かつ、階避難安全性能又は全館避難安全性能に影響を及ぼす修繕等が行われていない場合を除く。
(15)	給気送風機の外観	給気送風機の設置の状況	目視又は触診により確認する。	基礎架台の取付けが堅固でないこと又は著しい腐食、損傷等があること。
(16)		給気風道との接続の状況	目視により確認する。	接続部に空気漏れ、破損又は変形があること。

	(い)検査項目	(ろ)検査事項	(は)検査方法	(に)判定基準
(17)	加圧防排煙設備	給気送風機の性能	給気口の開放と連動起動の状況	作動の状況を確認する。
(18)			給気送風機の作動の状況	聴診又は触診により確認する。
(19)			電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況	予備電源により作動の状況を確認する。
(20)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	中央管理室において制御又は作動の状況を確認できないこと。
(21)		給気送風機の吸込口	吸込口の設置位置	目視により確認する。
(22)			吸込口の周囲の状況	目視により確認する。
(23)			屋外に設置された吸込口への雨水等の防止措置の状況	目視により確認する。
(24)		遮煙開口部の性能	遮煙開口部の排出風速	加圧防排煙設備を作動させた状態で遮煙開口部の開口幅を40cm開放し、同一断面内から9箇所を偏りなく抽出し、風速計を用いて1点につき30秒以上継続して風速を測定する。
(25)		空気逃し口の外観	空気逃し口の大きさ及び位置	目視により確認する。
(26)			空気逃し口の周囲の状況	目視により確認する。
(27)			空気逃し口の取付けの状況	目視により確認する。
(28)		空気逃し口の性能	空気逃し口の作動の状況	目視により確認する。
(29)		圧力調整装置の外観	圧力調整装置の大きさ及び位置	目視により確認する。
(30)			圧力調整装置の周囲の状況	目視により確認する。
(31)			圧力調整装置の取付けの状況	目視により確認する。
(32)		圧力調整装置の性能	圧力調整装置の作動の状況	目視により確認する。

	(い)検査項目	(ろ)検査事項	(は)検査方法	(に)判定基準
3	令第126条の2第1項に規定する居室等			
(1)	可動防煙壁	手動降下装置の作動の状況	作動の状況を確認する。	片手で容易に操作できないこと。
(2)		手動降下装置による連動の状況	作動の状況を確認する。	連動して作動しないこと。
(3)		煙感知器による連動の状況	作動の状況を確認する。	連動して作動しないこと。
(4)		可動防煙壁の材質	目視により確認する。	不燃材料でないこと。
(5)		可動防煙壁の防煙区画	目視により確認する。	脱落又は欠損があり煙の流動を妨げる効果がないこと。
(6)		中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	中央管理室において制御及び作動の状況を確認する。	中央管理室において制御又は作動の状況を確認できないこと。
4	予備電源			
(1)	自家用発電装置	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況	目視により確認する。	令第112条第20項若しくは第21項又は令第129条の2の4第1項第7号の規定に適合しないこと。
(2)		発電機の発電容量	予備電源の容量を確認する。	自家用発電装置の出力容量が少なく、防災設備を30分以上運転できないこと。
(3)		発電機及び原動機の状況	目視又は触診により確認する。	端子部の締め付けが堅固でないこと、計器若しくは制御盤の表示ランプ等に破損があること又は原動機若しくは燃料タンクの周囲に油漏れ等があること。
(4)		燃料油、潤滑油及び冷却水の状況	目視により確認する。	燃料タンク若しくは冷却水槽の貯蔵量が少なく30分以上運転できないこと又は潤滑油が機器に表示された適正な範囲にないこと。
(5)		始動用の空気槽の圧力	圧力計を目視により確認するとともに、聴診により確認する。	空気層の自動充気圧力が、高圧側で2.2から2.9メガパスカル、低圧側で0.7から1.0メガパスカルに維持されていないこと又は圧力が低下しても警報を発しないこと。
(6)		セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	目視により確認するとともに、蓄電池電圧を電圧計により測定する。	電圧が定格電圧以下であること、電解液量が機器に表示された適正量より少ないこと又は電気ケーブルとの接続部に緩み、液漏れ等があること。
(7)		燃料及び冷却水の漏洩の状況	目視により確認する。	配管の接続部等に漏洩等があること。
(8)		計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況	目視により確認する。	発電機盤、自動制御盤等の計器類、スイッチ等に指示不良若しくは損傷があること又は運転表示ランプ類が点灯しないこと。
(9)		自家用発電装置の取付けの状況	目視又は触診により確認する。	基礎架台の取付けが堅固でないこと又は著しい腐食、損傷等があること。
(10)		自家用発電機室の給排気の状況(屋内に設置されている場合に限る。)	室内の温度を温度計により測定するとともに、作動の状況を確認する。	給排気が十分でなく室内温度が摂氏40度を超えていること又は給排気ファンが単独で若しくは発電機と連動して運転できないこと。
(11)		接地線の接続の状況	目視により確認する。	接続端子部に緩み又は著しい腐食があること。
(12)		絶縁抵抗	絶縁抵抗計により測定する。	測定結果が電気設備に関する技術基準を定める省令(平成9年通商産業省令第52号)第58条の規定値を下回っていること。



	(い)検査項目		(ろ)検査事項	(は)検査方法	(に)判定基準
(13)	自家用発電装置	自家用発電装置の性能	電源の切替えの状況	作動の状況を確認する。	予備電源への切替えができないこと。
(14)			始動の状況	作動の状況を確認する。	空気始動及びセル始動により作動しないこと又は電圧が始動から40秒以内に確立しないこと。
(15)			運転の状況	目視、聴診又は触診により確認する。	運転中に異常な音、異常な振動等があること。
(16)			排気の状況	目視により確認する。	排気管、消音器等の変形、損傷、き裂等による排気漏れがあること。
(17)			コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況	作動の状況を確認する。	運転中に異常な音又は異常な振動があること。
(18)	直結エンジン	直結エンジンの外観	直結エンジンの設置の状況	目視又は触診により確認する。	据付けが堅固でないこと、アンカーボルト等に著しい腐食があること又は換気が十分でないこと。
(19)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況	目視により確認する。	燃料タンク若しくは冷却水槽の貯蔵量が足りず30分間以上運転できないこと又は潤滑油が機器に表示された適正な範囲にないこと。
(20)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	目視により確認するとともに、蓄電池電圧を電圧計により測定する。	電圧が定格電圧以下であること、電解液量が機器に表示された適正量より少ないこと又は電気ケーブルとの接続部に緩み、液漏れ等があること。
(21)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況	目視により確認する。	制御盤等の計器類、スイッチ類等に指示不良若しくは損傷があること又は運転表示ランプ類が点灯しないこと。
(22)			給気部及び排気管の取付けの状況	目視により確認する。	変形、損傷、き裂等があること。
(23)			Vベルト	目視又は触診により確認する。	ベルトに損傷若しくはき裂があること又はたわみが大きいこと。
(24)			接地線の接続の状況	目視により確認する。	接続端子部に緩み又は著しい腐食があること。
(25)		絶縁抵抗	絶縁抵抗計により測定する。	測定結果が電気設備に関する技術基準を定める省令第58条の規定値を下回っていること。	
(26)		直結エンジンの性能	始動及び停止並びに運転の状況	目視、聴診又は触診により確認する。	正常に作動若しくは停止できないこと、排煙口の開放と連動して直結エンジンが作動しないこと又は運転中に異常な音、異常な振動等があること。
次の表の左欄に掲げる項目については、それぞれ同表の右欄に掲げる記録がある場合には、(は)欄に掲げる検査方法にかかわらず、当該記録により確認することで足りる。					
項目			記録		
1(9)、(18)、(20)、(37)、(39)、(49)、2(24)			前回の検査後にそれぞれ(は)欄に掲げる検査方法と同等の方法で実施した検査等の記録		
1(2)、(4)、(6)～(8)、(10)、(12)～(14)、(16)、(19)、(21)、(22)、(27)、2(1)～(4)、(6)～(8)、(10)、(12)、(13)、(16)～(20)、(26)～(28)、3(2)、(3)、(5)、(6)、4(3)～(8)、(10)～(17)			前回の検査後に建築基準法令以外の法令の規定に基づき実施した点検等の記録(消防法(昭和23年法律第186号))		
4(3)～(8)、(12)、(15)～(17)			前回の検査後に建築基準法令以外の法令の規定に基づき実施した点検等の記録(電気事業法(昭和39年法律第170号))		

建築設備（昇降機を除く。）の検査方法及び判定基準

建築設備等の検査方法及び判定基準は、平成20年国土交通省告示第285号に示されている。

(非常用の照明装置)

別表第三

	(い)検査項目	(ろ)検査事項	(は)検査方法	(に)判定基準
1	照明器具			
(1)	非常用の照明器具	使用電球、ランプ等	目視により確認する。	昭和45年建設省告示第1830号第1第1号の規定に適合しないこと。
(2)		照明器具の取付けの状況	目視及び触診により確認する。	天井その他の取付け部に正しく固定されていないこと又は予備電源内蔵コンセント型照明器具である場合は、差込みプラグが壁等に固定されたコンセントに直接接続されていないこと若しくはコンセントから容易に抜ける状態であること。
2	電池内蔵形の蓄電池、電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置			
(1)	予備電源	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況並びに予備電源の性能	作動の状況及び点灯時間を確認する。	昭和45年建設省告示第1830号第3第2号又は第3号の規定に適合しないこと。
(2)	照度	照度の状況	避難上必要となる部分のうち最も暗い部分の水平床面において低照度測定用照度計により測定する。	昭和45年建設省告示第1830号第4の規定に適合しないこと。
(3)	分電盤	非常用電源分岐回路の表示の状況	目視により確認する。	非常用の照明装置である旨の表示がないこと。
(4)	配線	配電管等の防火区画の貫通措置の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く）	目視又は触診により確認するとともに、必要に応じて鋼製巻尺等により測定する。	令第112条第20項又は第129条の2の4第1項第7号の規定に適合しないこと。
3	電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置			
(1)	配線	照明器具の取付けの状況及び配線の接続の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く）	目視により確認する。	昭和45年建設省告示第1830号第2の規定に適合しないこと。
(2)		電気回路の接続の状況	目視により確認するとともに、必要に応じて回路計により測定する。	昭和45年建設省告示第1830号第2の規定に適合しないこと。
(3)		接続部（ただし幹線分岐及びボックス内に限る）の耐熱処理の状況	目視により確認する。	昭和45年建設省告示第1830号第2の規定に適合しないこと。
(4)		予備電源から非常用の照明器具間の配線の耐熱処理の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く）	目視により確認する。	昭和45年建設省告示第1830号第2第3号の規定に適合しないこと。
(5)	切替回路	常用の電源から蓄電池設備への切替えの状況	作動の状況を確認する。	昭和45年建設省告示第1830号第3の規定に適合しないこと。
(6)		蓄電池設備と自家用発電装置併用の場合の切替えの状況	作動までの時間を確認する。	昭和45年建設省告示第1830号第3の規定に適合しないこと。

	(い)検査項目	(ろ)検査事項	(は)検査方法	(に)判定基準	
4	電池内蔵形の蓄電池				
(1)	配線及び充電ランプ	充電ランプの点灯の状況	目視により確認する。	点滅スイッチを切断しても充電ランプが点灯しないこと。	
(2)		誘導灯及び非常用照明兼用器具の専用回路の確保の状況	目視により確認する。	昭和45年建設省告示第1830号第2の規定に適合しないこと。	
5	電源別置形の蓄電池				
(1)	蓄電池	蓄電池等の状況	蓄電池室の防火区画等の貫通措置の状況	目視により確認する。	令第112条第20項若しくは第21項又は令第129条の2の4第1項第7号の規定に適合しないこと。
(2)			蓄電池室の換気の状況	室内の温度を温度計により測定する。	室温が摂氏40度を超えていること。
(3)			蓄電池の設置の状況	目視又は触診により確認する。	変形、損傷、腐食、液漏れ等があること。
(4)		蓄電池の性能	電圧	電圧計により測定する。	電圧が正常でないこと。
(5)			電解液比重	比重計により測定する。	電解液比重が適正でないこと。
(6)			電解液の温度	温度計により測定する。	電解液の温度が摂氏45度を超えていること。
(7)		充電器	充電器室の防火区画等の貫通措置の状況	目視により確認する。	令第112条第20項若しくは第21項又は令第129条の2の4第1項第7号の規定に適合しないこと。
(8)			キュービクルの取付けの状況	目視又は触診により確認する。	取付が堅固でないこと。
6	自家用発電装置				
(1)	自家用発電装置	自家用発電装置等の状況	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況	目視により確認する。	令第112条第20項若しくは第21項又は令第129条の2の4第1項第7号の規定に適合しないこと。
(2)			発電機の発電容量	予備電源の容量を確認する。	自家用発電装置の出力容量が少なく、防災設備を30分以上運転できないこと。
(3)			発電機及び原動機の状況	目視又は触診により確認する。	端子部の締め付けが堅固でないこと、計器若しくは制御盤の表示ランプ等に破損があること又は原動機若しくは燃料タンクの周囲に油漏れ等があること。
(4)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況	目視により確認する。	燃料タンク若しくは冷却水槽の貯蔵量が少なく30分間以上運転できないこと又は潤滑油が機器に表示された適正な範囲内にないこと。
(5)			始動用の空気槽の圧力	圧力計を目視により確認するとともに、聴診により確認する。	空気層の自動充気圧力が、高圧側で2.2から2.9メガパスカル、低圧側で0.7から1.0メガパスカルに維持されていないこと又は圧力が低下しても警報を発しないこと。
(6)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	目視により確認するとともに、蓄電池電圧を電圧計により測定する。	電圧が定格電圧以下であること、電解液量が機器に表示された適正量より少ないこと又は電気ケーブルとの接続部に緩み、液漏れ等があること。
(7)			燃料及び冷却水の漏洩の状況	目視により確認する。	配管類の接続部等に漏洩等があること。
(8)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況	目視により確認する。	発電機盤、自動制御盤等の計器類、スイッチ類等に指示不良若しくは損傷があること又は運転表示ランプが点灯しないこと。

	(い)検査項目		(ろ)検査事項	(は)検査方法	(に)判定基準
(9)	自家用発電装置	自家用発電装置等の状況	自家用発電装置の取付けの状況	目視又は触診により確認する。	基礎架台の取付けが堅固でないこと又は著しい腐食、損傷等があること。
(10)			自家用発電機室の給排気の状況（屋内に設置されている場合に限る。）	室内の温度を温度計により測定するとともに、作動の状況を確認する。	給排気状態が十分でなく室内温度が摂氏40度を超えていること又は給排気ファンが単独で若しくは発電機と連動して運転できないこと。
(11)			接地線の接続の状況	目視により確認する。	接続端子部に緩み又は著しい腐食があること。
(12)			絶縁抵抗	絶縁抵抗計により測定する。	測定結果が電気設備に関する技術基準を定める省令第58条の規定値を下回っていること。
(13)		自家用発電装置の性能	電源の切替えの状況	作動の状況を確認する。	予備電源への切替えができないこと。
(14)			始動の状況	作動の状況を確認する。	空気始動及びセル始動により作動しないこと又は電圧が始動から40秒以内に確立しないこと。
(15)			運転の状況	目視、聴診又は触診により確認する。	運転中に異常な音、異常な振動等があること。
(16)			排気の状況	目視により確認する。	排気管、消音器等の変形、損傷、き裂等による排気漏れがあること。
(17)			コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況	作動の状況を確認する。	運転中に異常な音、異常な振動等があること。
5項(2)から(6)まで並びに6項(3)から(8)まで及び(10)から(17)までについては、前回の検査後に建築基準法令以外の法令の規定に基づき実施した点検等の記録がある場合には、(は)欄に掲げる検査方法にかかわらず、当該記録により確認することで足りる。					
項目			建築基準法令以外の法令		
5(2)～(6)、 6(3)～(8)、(10)～(17)			消防法(昭和23年法律第186号)		
6(3)～(8)、(12)、(15)～(17)			電気事業法(昭和39年法律第170号)		

第三十六号の六様式（第六条、第六条の二の二関係）（A4）  
定期検査報告書  
（建築設備（昇降機を除く。））  
（第一面）



建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載  
の事項は、事実と相違ありません。  
特定行政庁 様

令和 年 月 日

報告者氏名

検査者氏名

【1.所有者】  
【イ.氏名のフリガナ】  
【ロ.氏名】  
【ハ.郵便番号】  
【ニ.住所】  
【ホ.電話番号】

【2.管理者】  
【イ.氏名のフリガナ】  
【ロ.氏名】  
【ハ.郵便番号】  
【ニ.住所】  
【ホ.電話番号】

【3.報告対象建築物】  
【イ.所在地】  
【ロ.名称のフリガナ】  
【ハ.名称】  
【ニ.用途】

【4.検査による指摘の概要】  
【イ.指摘の内容】☐要是正の指摘あり（☐既存不適格）☐指摘なし  
【ロ.指摘の概要】  
【ハ.改善予定の有無】☐有（令和 年 月に改善予定）☐無  
【ニ.その他特記事項】

※ 受付欄	※ 特記欄	※ 整理番号欄
令和 年 月 日		
第 号		
係員氏名		

建 築 設 備 の 状 況 等

【 1 . 建 築 物 の 概 要 】									
【 イ . 階 数 】		地上		階		地下		階	
【 ロ . 建 築 面 積 】				m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>	
【 ハ . 延 べ 面 積 】				m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>	
【 ニ . 検 査 対 象 建 築 設 備 】		<input type="checkbox"/> 換気設備		<input type="checkbox"/> 排煙設備		<input type="checkbox"/> 非常用の照明装置			
		<input type="checkbox"/> 給水設備及び排水設備							
【 2 . 確 認 済 証 交 付 年 月 日 等 】									
【 イ . 確 認 済 証 交 付 年 月 日 】		昭和・平成・令和		年		月		日 第	
【 ロ . 確 認 済 証 交 付 者 】		<input type="checkbox"/> 建築主事等		<input type="checkbox"/> 指定確認検査機関		(		) 号	
【 ハ . 検 査 済 証 交 付 年 月 日 】		昭和・平成・令和		年		月		日 第	
【 ニ . 検 査 済 証 交 付 者 】		<input type="checkbox"/> 建築主事等		<input type="checkbox"/> 指定確認検査機関		(		) 号	
【 3 . 検 査 日 等 】									
【 イ . 今 回 の 検 査 】		令和		年		月		日 実 施	
【 ロ . 前 回 の 検 査 】		<input type="checkbox"/> 実施		( 令和		年		月 日 報 告 )	
【 ハ . 前 回 の 検 査 に 関 する 書 類 の 写 し 】		<input type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無					
【 4 . 換 気 設 備 の 検 査 者 】									
( 代 表 と な る 検 査 者 )									
【 イ . 資 格 】		( ) 建 築 士		( ) 登 録 第				号	
		建築設備検査員		第				号	
【 ロ . 氏 名 の フ リ ガ ナ 】									
【 ハ . 氏 名 】									
【 ニ . 勤 務 先 】		( ) 建 築 士 事 務 所		( ) 知 事 登 録 第				号	
【 ホ . 郵 便 番 号 】									
【 ヘ . 所 在 地 】									
【 ト . 電 話 番 号 】									
( その他の検査者 )									
【 イ . 資 格 】		( ) 建 築 士		( ) 登 録 第				号	
		建築設備検査員		第				号	
【 ロ . 氏 名 の フ リ ガ ナ 】									
【 ハ . 氏 名 】									
【 ニ . 勤 務 先 】		( ) 建 築 士 事 務 所		( ) 知 事 登 録 第				号	
【 ホ . 郵 便 番 号 】									
【 ヘ . 所 在 地 】									
【 ト . 電 話 番 号 】									
【 5 . 換 気 設 備 の 概 要 】									
【 イ . 無 窓 居 室 】		<input type="checkbox"/> 自然換気設備 ( 系統 室 )		<input type="checkbox"/> 機械換気設備 ( 系統 室 )					
		<input type="checkbox"/> 中央管理方式の空気調和設備 ( 系統 室 )							
		<input type="checkbox"/> その他 ( 系統 室 )		<input type="checkbox"/> 無					
【 ロ . 火 気 使 用 室 】		<input type="checkbox"/> 自然換気設備 ( 系統 室 )		<input type="checkbox"/> 機械換気設備 ( 系統 室 )					
		<input type="checkbox"/> その他 ( 系統 室 )		<input type="checkbox"/> 無					
【 ハ . 居 室 等 】		<input type="checkbox"/> 自然換気設備 ( 系統 室 )		<input type="checkbox"/> 機械換気設備 ( 系統 室 )					
		<input type="checkbox"/> 中央管理方式の空気調和設備 ( 系統 室 )							
		<input type="checkbox"/> その他 ( 系統 室 )		<input type="checkbox"/> 無					
【 ニ . 防 火 ダ ン パ ー の 有 無 】		<input type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無					
【 6 . 換 気 設 備 の 検 査 の 状 況 】									
【 イ . 指 摘 の 内 容 】		<input type="checkbox"/> 要 是 正 の 指 摘 あ り		( <input type="checkbox"/> 既 存 不 適 格 )		<input type="checkbox"/> 指 摘 な し			
【 ロ . 指 摘 の 概 要 】									
【 ハ . 改 善 予 定 の 有 無 】		<input type="checkbox"/> 有		( 令和 年 月 に 改 善 予 定 )		<input type="checkbox"/> 無			
【 7 . 換 気 設 備 の 不 具 合 の 発 生 状 況 】									
【 イ . 不 具 合 】		<input type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無					
【 ロ . 不 具 合 記 録 】		<input type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無					
【 ハ . 改 善 の 状 況 】		<input type="checkbox"/> 実 施 済		<input type="checkbox"/> 改 善 予 定 ( 令和 年 月 に 改 善 予 定 )		<input type="checkbox"/> 予 定 な し			

【 8 . 排煙設備の検査者 】

( 代表となる検査者 )

【 イ . 資 格 】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
建築設備検査員 第 号

【 ロ . 氏名のフリガナ 】

【 ハ . 氏 名 】

【 ニ . 勤 務 先 】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【 ホ . 郵便番号 】

【 ヘ . 所 在 地 】

【 ト . 電話番号 】

( その他の検査者 )

【 イ . 資 格 】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
建築設備検査員 第 号

【 ロ . 氏名のフリガナ 】

【 ハ . 氏 名 】

【 ニ . 勤 務 先 】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【 ホ . 郵便番号 】

【 ヘ . 所 在 地 】

【 ト . 電話番号 】

【 9 . 排煙設備の概要 】

【 イ . 避難安全検証法等の適用 】 ☐ 区画避難安全検証法 ( 階 )  
☐ 階避難安全検証法 ( 階 ) ☐ 全館避難安全検証法  
☐ その他 ( )

【 ロ . 特別避難階段の階段室又は付室 】

☐ 吸引式 ( 区画 ) ☐ 給気式 ( 区画 ) ☐ 加圧式 ( 区画 ) ☐ 無

【 ハ . 非常用エレベーターの昇降路又は乗降ロビー 】

☐ 吸引式 ( 区画 ) ☐ 給気式 ( 区画 ) ☐ 加圧式 ( 区画 ) ☐ 無

【 ニ . 非常用エレベーターの乗降ロビーの用に供する付室 】

☐ 吸引式 ( 区画 ) ☐ 給気式 ( 区画 ) ☐ 加圧式 ( 区画 ) ☐ 無

【 ホ . 居 室 等 】 ☐ 吸引式 ( 区画 ) ☐ 給気式 ( 区画 ) ☐ 加圧式 ( 区画 ) ☐ 無

【 ヘ . 予 備 電 源 】 ☐ 蓄電池 ☐ 自家用発電装置 ☐ 直結エンジン ☐ その他 ( )

【 10 . 排煙設備の検査の状況 】

【 イ . 指摘の内容 】 ☐ 要是正の指摘あり ( ☐ 既存不適格 ) ☐ 指摘なし

【 ロ . 指摘の概要 】

【 ハ . 改善予定の有無 】 ☐ 有 ( 令和 年 月に改善予定 ) ☐ 無

【 11 . 排煙設備の不具合の発生状況 】

【 イ . 不 具 合 】 ☐ 有 ☐ 無

【 ロ . 不具合記録 】 ☐ 有 ☐ 無

【 ハ . 改善の状況 】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 ( 令和 年 月に改善予定 ) ☐ 予定なし

【 12 . 非常用の照明装置の検査者 】

( 代表となる検査者 )

【 イ . 資 格 】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
建築設備検査員 第 号

【 ロ . 氏名のフリガナ 】

【 ハ . 氏 名 】

【 ニ . 勤 務 先 】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【 ホ . 郵便番号 】

【 ヘ . 所 在 地 】

【 ト . 電話番号 】

( その他の検査者 )

【 イ . 資 格 】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
建築設備検査員 第 号

【 ロ . 氏名のフリガナ 】

【 ハ . 氏 名 】

【 ニ . 勤 務 先 】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【 ホ . 郵便番号 】

【 ヘ . 所 在 地 】

【 ト . 電話番号 】

【 13．非常用の照明装置の概要 】

- 【 イ．照明器具 】 ☐白熱灯 ( \_\_\_\_\_ 灯 )      ☐蛍光灯 ( \_\_\_\_\_ 灯 )  
☐LEDランプ ( \_\_\_\_\_ 灯 )      ☐その他 ( \_\_\_\_\_ 灯 )
- 【 ロ．予備電源 】 ☐蓄電池 ( 内蔵形 ) ( 居室 \_\_\_\_\_ 灯、廊下 \_\_\_\_\_ 灯、階段 \_\_\_\_\_ 灯 )  
☐蓄電池 ( 別置形 ) ( 居室 \_\_\_\_\_ 灯、廊下 \_\_\_\_\_ 灯、階段 \_\_\_\_\_ 灯 )  
☐自家用発電装置 ( 居室 \_\_\_\_\_ 灯、廊下 \_\_\_\_\_ 灯、階段 \_\_\_\_\_ 灯 )  
☐蓄電池 ( 別置型 ) ・自家発電装置併用 ( 居室 \_\_\_\_\_ 灯、廊下 \_\_\_\_\_ 灯、階段 \_\_\_\_\_ 灯 )  
☐その他 ( \_\_\_\_\_ )

【 14．非常用の照明装置の検査の状況 】

- 【 イ．指摘の内容 】 ☐要是正の指摘あり ( ☐既存不適格 )      ☐指摘なし
- 【 ロ．指摘の概要 】 \_\_\_\_\_
- 【 ハ．改善予定の有無 】 ☐有 ( 令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月に改善予定 )      ☐無

【 15．非常用の照明装置の不具合の発生状況 】

- 【 イ．不 具 合 】 ☐有      ☐無
- 【 ロ．不具合記録 】 ☐有      ☐無
- 【 ハ．改善の状況 】 ☐実施済      ☐改善予定 ( 令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月に改善予定 )      ☐予定なし

【 16．給水設備及び排水設備の検査者 】

- ( 代表となる検査者 )
- 【 イ．資 格 】 ( \_\_\_\_\_ ) 建築士 ( \_\_\_\_\_ ) 登録第 \_\_\_\_\_ 号  
建築設備検査員
- 【 ロ．氏名のフリガナ 】 \_\_\_\_\_
- 【 ハ．氏 名 】 \_\_\_\_\_
- 【 ニ．勤 務 先 】 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ ) 建築士事務所 ( \_\_\_\_\_ ) 知事登録第 \_\_\_\_\_ 号
- 【 ホ．郵便番号 】 \_\_\_\_\_
- 【 ヘ．所 在 地 】 \_\_\_\_\_
- 【 ト．電話番号 】 \_\_\_\_\_

- ( その他の検査者 )
- 【 イ．資 格 】 ( \_\_\_\_\_ ) 建築士 ( \_\_\_\_\_ ) 登録第 \_\_\_\_\_ 号  
建築設備検査員
- 【 ロ．氏名のフリガナ 】 \_\_\_\_\_
- 【 ハ．氏 名 】 \_\_\_\_\_
- 【 ニ．勤 務 先 】 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ ) 建築士事務所 ( \_\_\_\_\_ ) 知事登録第 \_\_\_\_\_ 号
- 【 ホ．郵便番号 】 \_\_\_\_\_
- 【 ヘ．所 在 地 】 \_\_\_\_\_
- 【 ト．電話番号 】 \_\_\_\_\_

【 17．給水設備及び排水設備の概要 】

- 【 イ．飲料水の配管設備 】 ☐給水タンク ( \_\_\_\_\_ 基 m<sup>3</sup> )      ☐貯水タンク ( \_\_\_\_\_ 基 m<sup>3</sup> )  
☐その他 ( \_\_\_\_\_ )
- 【 ロ．排水設備 】 ☐排水槽 ( ☐汚水槽      ☐雑排水槽      ☐合併槽      ☐雨水槽・湧水槽 )  
☐排水再利用配管設備      ☐その他 ( \_\_\_\_\_ )
- 【 ハ．圧力タンクの有無 】 ☐有      ☐無
- 【 ニ．給湯方式 】 ☐局所式      ☐中央式
- 【 ホ．湯沸器 】 ☐開放式燃焼器      ☐半密閉式燃焼器      ☐密閉式燃焼器  
☐その他 ( \_\_\_\_\_ )

【 18．給水設備及び排水設備の検査の状況 】

- 【 イ．指摘の内容 】 ☐要是正の指摘あり ( ☐既存不適格 )      ☐指摘なし
- 【 ロ．指摘の概要 】 \_\_\_\_\_
- 【 ハ．改善予定の有無 】 ☐有 ( 令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月に改善予定 )      ☐無

【 19．給水設備及び排水設備の不具合の発生状況 】

- 【 イ．不 具 合 】 ☐有      ☐無
- 【 ロ．不具合記録 】 ☐有      ☐無
- 【 ハ．改善の状況 】 ☐実施済      ☐改善予定 ( 令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月に改善予定 )      ☐予定なし

【 20．備考 】



建 築 設 備 に 係 る 不 具 合 の 状 況

【 １．換気設備 】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

【 ２．排煙設備 】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

【 ３．非常用の照明装置 】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

【 ４．給水設備及び排水設備 】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

(注意)

1. 各面共通関係

- ① ※印のある欄は記入しないでください。(整理番号については記入してください。)
- ② 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
- ③ 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入し添えてください。

2. 第一面関係

- ① 検査者が2人以上のときは、代表となる検査者を検査者氏名欄に記入してください。
- ② 1欄及び2欄は、所有者又は管理者が法人のときは、「ロ」はそれぞれ法人の名称及び代表者氏名を、「ニ」はそれぞれ法人の所在地を記入してください。
- ③ 第二面の6欄、10欄、14欄又は18欄のいずれかの「イ」において「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れた場合においては、第一面の4欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外のときは、「指摘なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第二面の6欄、10欄、14欄及び18欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたものの全てにおいて、「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときは、併せて第一面の4欄の「イ」の「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ④ 4欄の「ロ」は、指摘された事項のうち特に報告すべき事項があれば記入してください。
- ⑤ 4欄の「ハ」は、第二面の6欄、10欄、14欄又は18欄のいずれかの「ハ」において改善予定があるとしているときは「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第二面の6欄、10欄、14欄又は18欄の「ハ」に記入されている改善予定年月のうち最も早いものを併せて記入してください。
- ⑥ 4欄の「ニ」は、指摘された事項以外に特に報告すべき事項があれば記入してください。

3. 第二面関係

- ① この書類は、建築物ごとに、建築設備等の概要及び当該建築設備等の構造方法に係る検査結果について作成してください。
- ② 1欄の「ニ」は、検査対象の建築設備について、該当する全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ③ 2欄の「イ」及び「ロ」は、検査対象の建築設備等に関する直前の確認(建築基準法第87条の4及び同法第88条第2項の規定により準用して適用される同法第6条第1項に規定する確認を含む。以下この様式において同じ。)について、「ハ」及び「ニ」は、検査対象の建築設備等に関する直前の完了検査について、それぞれ記入してください。
- ④ 2欄の「ロ」及び「ニ」は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入してください。
- ⑤ 3欄の「イ」は、検査が終了した年月日を記入し、「ロ」は、検査対象の建築設備等に関する直前の報告(報告書を提出した日)について記入して下さい。
- ⑥ 3欄の「ロ」は、報告の対象となっていない場合には「未実施」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑦ 3欄の「ハ」は、前回の定期調査の結果を記録した書類の写しの保存の有無について記入してください。
- ⑧ 4欄から19欄までは、検査の対象となっていない建築設備等の欄には記入する必要はありません。
- ⑨ 4欄、8欄、12欄及び16欄は、代表となる検査者並びに検査に係る建築設備に係るすべての検査者について記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ⑩ 4欄、8欄、12欄及び16欄の「イ」は、検査者の有する資格について記入してください。検査者が建築設備検査員である場合は、建築設備検査員資格者証の交付番号を「建築設備検査員」の番号欄に記入してください。
- ⑪ 4欄、8欄、12欄及び16欄の「ニ」は、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、勤務先が建築士事務所のときは、事務所登録番号を併せて記入してください。
- ⑫ 4欄、8欄、12欄及び16欄の「ホ」から「ト」までは、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、検査者が法人に勤務していない場合は検査者の住所について記入してください。
- ⑬ 5欄の「イ」は、換気のための有効な部分の面積が居室の床面積の20分の1未満となる居室(建築基準法第28条第3項に規定する特殊建築物の居室を除く。)について、「ロ」は、同項に規定する室(同項に規定する特殊建築物の居室を除く。)について記入し、それぞれ該当する室がない場合においては「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、「ハ」は、同項に規定する特殊建築物の居室について記入してください。
- ⑭ 17欄の「イ」、「ロ」及び「ホ」は、それぞれ該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「その他」の場合は併せて具体的な内容を記入してください。
- ⑮ 6欄、10欄、14欄及び18欄の「イ」は、検査結果において、是正が必要と認められるときは「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該指摘された箇所の全てに建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは併せて「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑯ 6欄、10欄、14欄及び18欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたとき(「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。)は、「ロ」に指摘の概要を記入してください。
- ⑰ 6欄、10欄、14欄及び18欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ(「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。)、当該指摘をうけた項目について改善予定があるときは「ハ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入してください。改善予定がないときは「ハ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

- ⑱ 前回検査時以降に把握した火災時の排煙設備不動作等機器の故障、異常動作、損傷、腐食その他の劣化に起因するもの(以下、「不具合」という。)について第三面の1欄、2欄、3欄又は4欄の「不具合の概要」欄に記入したときは、7欄、11欄、15欄又は19欄の「イ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該不具合について記録が有るときは7欄、11欄、15欄又は19欄の「ロ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、記録が無いときは7欄、11欄、15欄又は19欄の「ロ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第三面の1欄、2欄、3欄又は4欄に記入された不具合のうち当該不具合を受けた改善を既に実施しているものがあり、かつ、改善を行う予定があるものがない場合には7欄、11欄、15欄又は19欄の「ハ」の「実施済」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第三面の1欄、2欄、3欄又は4欄に記入された不具合のうち改善を行う予定があるものがある場合には7欄、11欄、15欄又は19欄の「改善予定」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入し、改善の予定がない場合には7欄、11欄、15欄又は19欄の「予定なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑲ 9欄の「イ」は、建築基準法施行令第128条の6第3項に規定する区画避難安全検証法により区画避難安全検証性能が検証された建築物のときは「区画避難安全検証法」のチェックボックスに、同令第129条第3項に規定する階避難安全検証法により階避難安全性能が検証された建築物のときは「階避難安全検証法」のチェックボックスに、同令第129条の2第4項に規定する全館避難安全検証法により全館避難安全性能が検証された建築物のときは「全館避難安全検証法」のチェックボックスに、それぞれ「レ」マークを入れ、「区画避難安全検証法」の場合は区画避難安全性能を検証した階を、「階避難安全検証法」の場合は階避難安全性能を検証した階を、併せて記入してください。  
建築基準法第38条(同法第66条、第67条の2及び第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定による特殊構造方法等認定、同法第68条の25第1項の規定による構造方法等の認定又は建築基準法の一部を改正する法律(平成10年法律第100号)による改正前の建築基準法第38条の規定による認定を受けている建築物のうち、当該適用について特に報告が必要なものについては「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、その概要を記入してください。
- ⑳ 9欄の「ロ」、「ハ」及び「ニ」は、それぞれ該当する室がないときに「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、「ホ」は、「ロ」、「ハ」及び「ニ」以外の居室、廊下及び階段の用に供する部分について記入してください。
- ㉑ 各欄に掲げられている項目以外で特に報告すべき事項は、20欄又は別紙に記載して添えてください。

#### 4. 第三面関係

- ① 第三面の1欄、2欄、3欄又は4欄は、前回検査時以降に把握した建築設備に係る不具合のうち第二面の6欄、10欄、14欄又は18欄において指摘されるもの以外のものについて、把握できる範囲において記入してください。前回検査時以降不具合を把握していない場合は、第三面を省略することができます。
- ② 「不具合を把握した年月」欄は、当該不具合を把握した年月を記入してください。
- ③ 「不具合の概要」欄は、当該不具合の箇所を特定した上で、当該不具合の具体的内容を記入してください。
- ④ 「考えられる原因」欄は、当該不具合が生じた原因として主として考えられるものを記入してください。ただし、当該不具合が生じた原因が不明な場合は「不明」と記入してください。
- ⑤ 「改善(予定)年月」欄は、既に改善を実施している場合には実施年月を、改善を行う予定がある場合には改善予定年月を記入し、改善を行う予定がない場合には「ー」を記入してください。
- ⑥ 「改善措置の概要等」欄は、既に改善を実施している場合又は改善を行う予定がある場合に、具体的措置の概要を記入してください。改善を行う予定がない場合には、その理由を記入してください。

第三十六号の七様式（第六条、第六条の二の二、第六条の三、第十一条の三関係）（A4）

定期検査報告概要書

（建築設備（昇降機を除く。））



（第一面）

【 1 . 所有者 】

【 イ . 氏名のフリガナ 】

【 ロ . 氏 名 】

【 ハ . 郵便番号 】

【 ニ . 住 所 】

【 2 . 管理者 】

【 イ . 氏名のフリガナ 】

【 ロ . 氏 名 】

【 ハ . 郵便番号 】

【 ニ . 住 所 】

【 3 . 報告対象建築物 】

【 イ . 所 在 地 】

【 ロ . 名称のフリガナ 】

【 ハ . 名 称 】

【 ニ . 用 途 】

【 4 . 検査による指摘の概要 】

【 イ . 指摘の内容 】

【 ロ . 指摘の概要 】

【 ハ . 改善予定の有無 】

【 ニ . その他特記事項 】

【 5 . 不具合の発生状況 】

【 イ . 不 具 合 】

【 ロ . 不具合記録 】

【 ハ . 不具合の概要 】

【 ニ . 改善の状況 】

建築設備の状況等

【 1 . 建築物の概要 】									
【 イ . 階 数 】		地上_____階		地下_____階					
【 ロ . 建築面積 】		_____		m <sup>2</sup>					
【 ハ . 延べ面積 】		_____		m <sup>2</sup>					
【 ニ . 検査対象建築設備 】		<input type="checkbox"/> 換気設備		<input type="checkbox"/> 排煙設備		<input type="checkbox"/> 非常用の照明装置			
		<input type="checkbox"/> 給水設備及び排水設備							
【 2 . 確認済証交付年月日等 】									
【 イ . 確認済証交付年月日 】		昭和・平成・令和		年		月		日 第_____号	
【 ロ . 確認済証交付者 】		<input type="checkbox"/> 建築主事等		<input type="checkbox"/> 指定確認検査機関		(_____)			
【 ハ . 検査済証交付年月日 】		昭和・平成・令和		年		月		日 第_____号	
【 ニ . 検査済証交付者 】		<input type="checkbox"/> 建築主事等		<input type="checkbox"/> 指定確認検査機関		(_____)			
【 3 . 検査日等 】									
【 イ . 今回の検査 】		令和_____年_____月_____日実施							
【 ロ . 前回の検査 】		<input type="checkbox"/> 実施 ( 令和_____年_____月_____日報告 )		<input type="checkbox"/> 未実施					
【 ハ . 前回の検査に関する書類の写し 】		<input type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無					
【 4 . 換気設備の検査者 】									
( 代表となる検査者 )									
【 イ . 資 格 】		( _____ ) 建築士		( _____ ) 登録第_____号					
		建築設備検査員		第_____号					
【 ロ . 氏名のフリガナ 】									
【 ハ . 氏 名 】		_____							
【 ニ . 勤 務 先 】		( _____ ) 建築士事務所		( _____ ) 知事登録第_____号					
【 ホ . 郵便番号 】		_____							
【 ヘ . 所 在 地 】		_____							
【 ト . 電話番号 】		_____							
( その他の検査者 )									
【 イ . 資 格 】		( _____ ) 建築士		( _____ ) 登録第_____号					
		建築設備検査員		第_____号					
【 ロ . 氏名のフリガナ 】									
【 ハ . 氏 名 】		_____							
【 ニ . 勤 務 先 】		( _____ ) 建築士事務所		( _____ ) 知事登録第_____号					
【 ホ . 郵便番号 】		_____							
【 ヘ . 所 在 地 】		_____							
【 ト . 電話番号 】		_____							
【 5 . 換気設備の概要 】									
【 イ . 無窓居室 】		<input type="checkbox"/> 自然換気設備 ( _____ 系統 _____ 室 )		<input type="checkbox"/> 機械換気設備 ( _____ 系統 _____ 室 )					
		<input type="checkbox"/> 中央管理方式の空気調和設備 ( _____ 系統 _____ 室 )							
		<input type="checkbox"/> その他 ( _____ 系統 _____ 室 )		<input type="checkbox"/> 無					
【 ロ . 火気使用室 】		<input type="checkbox"/> 自然換気設備 ( _____ 系統 _____ 室 )		<input type="checkbox"/> 機械換気設備 ( _____ 系統 _____ 室 )					
		<input type="checkbox"/> その他 ( _____ 系統 _____ 室 )		<input type="checkbox"/> 無					
【 ハ . 居 室 等 】		<input type="checkbox"/> 自然換気設備 ( _____ 系統 _____ 室 )		<input type="checkbox"/> 機械換気設備 ( _____ 系統 _____ 室 )					
		<input type="checkbox"/> 中央管理方式の空気調和設備 ( _____ 系統 _____ 室 )							
		<input type="checkbox"/> その他 ( _____ 系統 _____ 室 )		<input type="checkbox"/> 無					
【 ニ . 防火ダンパーの有無 】		<input type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無					

【 6 . 排煙設備の検査者 】

( 代表となる検査者 )

【 イ . 資 格 】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
建築設備検査員 第 号

【 ロ . 氏名のフリガナ 】

【 ハ . 氏 名 】

【 ニ . 勤 務 先 】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【 ホ . 郵便番号 】

【 ヘ . 所 在 地 】

【 ト . 電話番号 】

( その他の検査者 )

【 イ . 資 格 】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
建築設備検査員 第 号

【 ロ . 氏名のフリガナ 】

【 ハ . 氏 名 】

【 ニ . 勤 務 先 】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【 ホ . 郵便番号 】

【 ヘ . 所 在 地 】

【 ト . 電話番号 】

【 7 . 排煙設備の概要 】

【 イ . 避難安全検証法等の適用 】 ☐ 区画避難安全検証法 ( 階 )  
☐ 階避難安全検証法 ( 階 ) ☐ 全館避難安全検証法  
☐ その他 ( )

【 ロ . 特別避難階段の階段室又は付室 】

☐ 吸引式 ( 区画 ) ☐ 給気式 ( 区画 ) ☐ 加圧式 ( 区画 ) ☐ 無

【 ハ . 非常用エレベーターの昇降路又は乗降ロビー 】

☐ 吸引式 ( 区画 ) ☐ 給気式 ( 区画 ) ☐ 加圧式 ( 区画 ) ☐ 無

【 ニ . 非常用エレベーターの乗降ロビーの用に供する付室 】

☐ 吸引式 ( 区画 ) ☐ 給気式 ( 区画 ) ☐ 加圧式 ( 区画 ) ☐ 無

【 ホ . 居 室 等 】

☐ 吸引式 ( 区画 ) ☐ 給気式 ( 区画 ) ☐ 加圧式 ( 区画 ) ☐ 無

【 ヘ . 予 備 電 源 】 ☐ 蓄電池 ☐ 自家用発電装置 ☐ 直結エンジン ☐ その他 ( )

【 8 . 非常用の照明装置の検査者 】

( 代表となる検査者 )

【 イ . 資 格 】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
建築設備検査員 第 号

【 ロ . 氏名のフリガナ 】

【 ハ . 氏 名 】

【 ニ . 勤 務 先 】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【 ホ . 郵便番号 】

【 ヘ . 所 在 地 】

【 ト . 電話番号 】

( その他の検査者 )

【 イ . 資 格 】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
建築設備検査員 第 号

【 ロ . 氏名のフリガナ 】

【 ハ . 氏 名 】

【 ニ . 勤 務 先 】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【 ホ . 郵便番号 】

【 ヘ . 所 在 地 】

【 ト . 電話番号 】

【 9 . 非常用の照明装置の概要 】

【 イ . 照明器具 】 ☐ 白熱灯 ( 灯 ) ☐ 蛍光灯 ( 灯 )  
☐ LED ランプ ( 灯 ) ☐ その他 ( 灯 )

【 ロ . 予備電源 】 ☐ 蓄電池 ( 内蔵形 ) ( 居室 灯 、 廊下 灯 、 階段 灯 )

☐ 蓄電池 ( 別置形 ) ( 居室 灯 、 廊下 灯 、 階段 灯 )

☐ 自家用発電装置 ( 居室 灯 、 廊下 灯 、 階段 灯 )

☐ 蓄電池 ( 別置型 ) ・ 自家発電装置併用 ( 居室 灯 、 廊下 灯 、 階段 灯 )

☐ その他 ( )

【 10 . 給水設備及び排水設備の検査者 】

( 代表となる検査者 )

【 イ . 資 格 】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
建築設備検査員 第 号

【 ロ . 氏名のフリガナ 】

【 ハ . 氏 名 】

【 ニ . 勤 務 先 】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【 ホ . 郵便番号 】

【 ヘ . 所 在 地 】

【 ト . 電話番号 】

( その他の検査者 )

【 イ . 資 格 】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
建築設備検査員 第 号

【 ロ . 氏名のフリガナ 】

【 ハ . 氏 名 】

【 ニ . 勤 務 先 】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【 ホ . 郵便番号 】

【 ヘ . 所 在 地 】

【 ト . 電話番号 】

【 11 . 給水設備及び排水設備の概要 】

【 イ . 飲料水の配管設備 】 ☐ 給水タンク ( 基  $m^3$  ) ☐ 貯水タンク ( 基  $m^3$  )

☐ その他 ( )

【 ロ . 排水設備 】 ☐ 排水槽 ( ☐ 汚水槽 ☐ 雑排水槽 ☐ 合併槽 ☐ 雨水槽・湧水槽 )

☐ 排水再利用配管設備 ☐ その他 ( )

【 ハ . 圧力タンクの有無 】 ☐ 有 ☐ 無

【 ニ . 給湯方式 】 ☐ 局所式 ☐ 中央式

【 ホ . 湯沸器 】 ☐ 開放式燃焼器 ☐ 半密閉式燃焼器 ☐ 密閉式燃焼器

☐ その他 ( )

【 12 . 備考 】

( 注意 )

この様式には、第三十六号の六様式に記入した内容と同一の内容を記入してください。第二面は、同様式第二面において指摘があった建築設備についてのみ作成し、第一面に添えてください。

検査結果表  
(換気設備)

当該検査に関与した検査者		氏 名		検査者番号	
	代表となる検査者				
	その他の検査者				

番号	検 査 項 目 等			対象の有無	検査結果			状況、対策等	担当検査者番号
					指摘なし	要是正	既存不適格		
1	法第28条第2項又は第3項の規定に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）								
(1)	機械換気設備	機械換気設備(中央管理方式の空気調和設備を含む。)の外観	給気機の外気取入口並びに直接外気に開放された給気口及び排気口への雨水の侵入等の防止措置の状況						
(2)			給気機の外気取入口及び排気機の排気口の取付けの状況						
(3)			各居室の給気口及び排気口の設置位置						
(4)			各居室の給気口及び排気口の取付けの状況						
(5)			風道の取付けの状況						
(6)			風道の材質						
(7)			給気機又は排気機の設置の状況						
(8)			換気扇による換気の状況						
(9)		機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の性能	各居室の換気量						
(10)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況						
(11)	中央管理方式の空気調和設備	空気調和設備の主要機器及び配管の外観	空気調和設備の設置の状況						
(12)			空気調和設備及び配管の劣化及び損傷の状況						
(13)			空気調和設備の運転の状況						
(14)			空気ろ過器の点検口						
(15)			冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離						
(16)		空気調和設備の性能	各居室の温度						
(17)			各居室の相対湿度						
(18)			各居室の浮遊粉じん量						
(19)			各居室の一酸化炭素含有率						
(20)			各居室の二酸化炭素含有率						
(21)			各居室の気流						
2	換気設備を設けるべき調理室等								
(1)	自然換気設備及び機械換気設備	排気筒、排気フード及び煙突の材質							
(2)		排気筒、排気フード及び煙突の取付けの状況							
(3)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の大きさ							
(4)		給気口、排気口及び排気フードの位置							
(5)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の設置の状況							
(6)		排気筒及び煙突の断熱の状況							
(7)		排気筒及び煙突と可燃物、電線等との離隔距離							
(8)		煙突等への防火ダンパー、風道等の設置の状況							
(9)	自然換気設備	煙突の先端の立ち上がりの状況（密閉型燃焼器具の煙突を除く。）							
(10)	機械換気設備	煙突に連結した排気筒及び半密閉式瞬間湯沸器等の設置の状況							
(11)		換気扇による換気の状況							
(12)		給気機又は排気機の設置の状況							
(13)		機械換気設備の換気量							



番号	検 査 項 目 等	対象 の有無	検査結果			状況、対策等	担当 検査 者 番号
			指摘 なし	要 是 正	既存 不適 格		
3	法第28条第2項又は第3項の規定に基づき換気設備が設けられた居室等						
(1)	防火ダンパー等 (外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。)	防火ダンパーの設置の状況					
(2)		防火ダンパーの取付けの状況					
(3)		防火ダンパーの作動の状況					
(4)		防火ダンパーの劣化及び損傷の状況					
(5)		防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無					
(6)		防火ダンパーの温度ヒューズ					
(7)		壁及び床の防火区画貫通部の措置の状況					
(8)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器の位置					
(9)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器との連動の状況					
4	上記以外の検査項目等						
特記事項							
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等		改善策の具体的内容等		改善(予定)年月	

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の6様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 検査対象建築物に換気設備がない場合は、この様式は省略して構いません。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。  
【注意：神奈川県内は対象の有無欄に対象であれば○を記入し、該当しない場合でも抹消する必要はありません。  
】
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第一（ろ）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、建築設備の検査方法及び判定基準別表第一（ろ）欄に掲げる検査事項について同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑪ 1(9)「各居室の換気量」については、法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（別表1）を添付してください。
- ⑫ 2(13)「機械換気設備の換気量」については、換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表（別表2）を添付してください。
- ⑬ 4「上記以外の検査項目等」は、第2ただし書の規定により特定行政庁が検査項目等を追加したとき又は第2第2項の規定により検査の方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した検査項目等又は第2第2項に規定する図書に記載されている検査項目等を追加し、⑥から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目等がない場合は、4は削除して構いません。
- ⑭ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっては特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑮ 要是正とされた検査項目等（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

検査結果表  
(排煙設備)

当該検査に関与した検査者		氏 名		検査者番号	
	代表となる検査者				
	その他の検査者				

番号	検 査 項 目 等	対象 の有無	検査結果			状況、対策等	担当 検査者 番号	
			指摘 なし	要 是 正	既存 不適格			
1	令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー、令第126条の2第1項に規定する居室等							
(1)	排煙機	排煙機の外観	排煙機の設置の状況					
(2)			排煙風道との接続の状況					
(3)			煙排出口の設置の状況					
(4)			煙排出口の周囲の状況					
(5)			屋外に設置された煙排出口への雨水等の防止措置の状況					
(6)		排煙機の性能	排煙口の開放との連動起動の状況					
(7)			作動の状況					
(8)			電源を必要とする排煙機の予備電源による作動の状況					
(9)			排煙機の排煙風量					
(10)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況					
(11)	排煙口	機械排煙設備の排煙口の外観	排煙口の位置					
(12)			排煙口の周囲の状況					
(13)			排煙口の取付けの状況					
(14)			手動開放装置の周囲の状況					
(15)			手動開放装置の操作方法の表示の状況					
(16)		機械排煙設備の排煙口のパフォーマンス	手動開放装置による開放の状況					
(17)			排煙口の開放の状況					
(18)			排煙口の排煙風量					
(19)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況					
(20)			煙感知器による作動の状況					
(21)	排煙風道	機械排煙設備の排煙風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	排煙風道の劣化及び損傷の状況					
(22)			排煙風道の取付けの状況					
(23)			排煙風道の材質					
(24)			防煙壁の貫通措置の状況					
(25)			排煙風道と可燃物、電線等との離隔距離及び断熱の状況					
(26)		防火ダンパー（外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。）	防火ダンパーの取付けの状況					
(27)			防火ダンパーの作動の状況					
(28)			防火ダンパーの劣化及び損傷の状況					
(29)			防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無					
(30)			防火ダンパーの温度ヒューズ					
(31)			壁及び床の防火区画貫通部の措置の状況					
(32)	特殊な構造の排煙設備	特殊な構造の排煙設備の排煙口及び給気口の外観	排煙口及び給気口の大きさ及び位置					
(33)			排煙口及び給気口の周囲の状況					
(34)			排煙口及び給気口の取付けの状況					

番号	検 査 項 目 等			対象 の有無	検査結果			状況、対策等	担当 検査者 番号
					指摘 なし	要 正	既存 不適格		
(35)	特殊な構造 の排煙設備	特殊な構造の排煙 設備の排煙口及び 給気口の外観	手動開放装置の周囲の状況						
(36)			手動開放装置の操作方法の表示 の状況						
(37)		特殊な構造の排煙 設備の排煙口の性 能	排煙口の排煙風量						
(38)			中央管理室における制御及び作 動状態の監視の状況						
(39)			煙感知器による作動の状況						
(40)		特殊な構造の排煙 設備の給気風道 （隠蔽部分及び埋 設部分を除く。）	給気風道の劣化及び損傷の状況						
(41)			給気風道の材質						
(42)			給気風道の取付けの状況						
(43)			防煙壁の貫通措置の状況						
(44)		特殊な構造の排煙 設備の給気送風機 の外観	給気送風機の設置の状況						
(45)			給気風道との接続の状況						
(46)		特殊な構造の排煙 設備の給気送風機 の性能	排煙口の開放と連動起動の状況						
(47)			作動の状況						
(48)			電源を必要とする給気送風機の 予備電源による作動の状況						
(49)			給気送風機の給気風量						
(50)			中央管理室における制御及び作 動状態の監視の状況						
(51)		特殊な構造の排煙 設備の給気送風機 の吸込口	吸込口の設置位置						
(52)			吸込口の周囲の状況						
(53)			屋外に設置された吸込口への雨 水等の防止措置の状況						
2	令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー								
(1)	特別避難階段の階段室又は付 室及び非常用エレベーターの 昇降路又は乗降ロビーに設け る排煙口及び給気口		排煙機、排煙口及び給気口の作 動の状況						
(2)			給気口の周囲の状況						
(3)	加圧防排煙 設備	排煙風道（隠蔽部 分及び埋設部分を 除く。）	排煙風道の劣化及び損傷の状況						
(4)			排煙風道の取付けの状況						
(5)			排煙風道の材質						
(6)		給気口の外観	給気口の周囲の状況						
(7)			給気口の取付けの状況						
(8)			給気口の手動開放装置の周囲の状 況						
(9)			給気口の手動開放装置の操作方 法の表示の状況						
(10)		給気口の性能	給気口の手動開放装置による開放 の状況						
(11)			給気口の開放の状況						
(12)		給気風道（隠蔽部 分及び埋設部分を 除く。）	給気風道の劣化及び損傷の状況						
(13)			給気風道の取付けの状況						
(14)			給気風道の材質						
(15)		給気送風機の外観	給気送風機の設置の状況						
(16)			給気風道との接続の状況						
(17)		給気送風機の性能	給気口の開放と連動起動の状況						
(18)			給気送風機の作動の状況						

番号	検 査 項 目 等			対象 の有無	検査結果			状況、対策等	担当 検査 者 番号
					指摘 なし	要 是 正	既 存 不 適 格		
(19)	加圧防排煙 設備	給気送風機の性能	電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況						
(20)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況						
(21)		給気送風機の吸込口	吸込口の設置位置						
(22)			吸込口の周囲の状況						
(23)			屋外に設置された吸込口への雨水等の防止措置の状況						
(24)		遮煙開口部の性能	遮煙開口部の排出風速						
(25)		空気逃し口の外観	空気逃し口の大きさ及び位置						
(26)			空気逃し口の周囲の状況						
(27)			空気逃し口の取付けの状況						
(28)		空気逃し口の性能	空気逃し口の作動の状況						
(29)		圧力調整装置の外観	圧力調整装置の大きさ及び位置						
(30)			圧力調整装置の周囲の状況						
(31)			圧力調整装置の取付けの状況						
(32)		圧力調整装置の性能	圧力調整装置の作動の状況						
3	令第126条の2第1項に規定する居室等								
(1)	可動防煙 壁	手動降下装置の作動の状況							
(2)		手動降下装置による連動の状況							
(3)		煙感知器による連動の状況							
(4)		可動防煙壁の材質							
(5)		可動防煙壁の防煙区画							
(6)		中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況							
4	予備電源								
(1)	自家用発 電装置	自家用発電装置等の 状況	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況						
(2)			発電機の発電容量						
(3)			発電機及び原動機の状況						
(4)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況						
(5)			始動用の空気槽の圧力						
(6)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況						
(7)			燃料及び冷却水の漏洩の状況						
(8)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況						
(9)			自家用発電装置の取付けの状況						
(10)			自家用発電機室の給排気の状況（屋内に設置されている場合に限る。）						
(11)			接地線の接続の状況						
(12)			絶縁抵抗						
(13)		自家用発電装置の 性能	電源の切替えの状況						
(14)			始動の状況						
(15)			運転の状況						
(16)			排気の状況						
(17)			コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況						

番号	検 査 項 目 等			対象 の有無	検査結果			状況、対策等	担当 検査者 番号
					指摘 なし	要 是 正	既存 不適 格		
(18)	直結エン ジン	直結エンジンの外 観	直結エンジンの設置の状況						
(19)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況						
(20)			セル始動用蓄電池及び電気ケー ブルの接続の状況						
(21)			計器類及びランプ類の指示及び点 灯の状況						
(22)			給気部及び排気管の取付けの状況						
(23)			Vベルト						
(24)			接地線の接続の状況						
(25)		絶縁抵抗							
(26)		直結エンジンの性 能	始動及び停止並びに運転の状況						
5	上記以外の検査項目等								
特記事項									
番号	検査項目等		指摘の具体的内容等		改善策の具体的内容等		改善(予定)年月		

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の6様式第二面8欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 検査対象建築物に排煙設備がない場合は、この様式は省略して構いません。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。  
【注意：神奈川県内は対象の有無欄に対象であれば○を記入し、該当しない場合でも抹消する必要はありません。】
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第二(ろ)欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、建築設備の検査方法及び判定基準別表第二(ろ)欄に掲げる検査事項について同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑪ 1(9)「排煙機の排煙風量」及び1(18)「排煙口の排煙風量」については、排煙風量測定記録表(別表3)を添付してください。
- ⑫ 1(37)「排煙口の排煙風量」及び1(49)「給気送風機の給気風量」については、排煙風量測定記録表(別表3-2)を添付してください。
- ⑬ 2(24)「遮煙開口部の排出風速」については、排煙風量測定記録表(別表3-3)を添付してください。
- ⑭ 5「上記以外の検査項目等」は、第2ただし書の規定により特定行政庁が検査項目等を追加したとき又は第2第2項の規定により検査の方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した検査項目等又は第2第2項に規定する図書に記載されている検査項目等を追加し、⑥から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目等がない場合は、5は削除して構いません。
- ⑮ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を( )書きで記入してください。
- ⑯ 要是正とされた検査項目等(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

検査結果表  
(非常用の照明装置)

当該検査に関与した検査者		氏 名				検査者番号		
	代表となる検査者							
	その他の検査者							

番号	検 査 項 目 等		対象の有無	検査結果			状況、対策等	担当検査者番号
				指摘なし	要正	既存不適格		
1	照明器具							
(1)	非常用の照明器具	使用電球、ランプ等						
(2)		照明器具の取付けの状況						
2	電池内蔵形の蓄電池、電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置							
(1)	予備電源	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況並びに予備電源の性能						
(2)	照度	照度の状況						
(3)	分電盤	非常用電源分岐回路の表示の状況						
(4)	配線	配電管等の防火区画の貫通措置の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）						
3	電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置							
(1)	配線	照明器具の取付けの状況及び配線の接続の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）						
(2)		電気回路の接続の状況						
(3)		接続部（幹線分岐及びボックス内に限る。）の耐熱処理の状況						
(4)		予備電源から非常用の照明器具間の配線の耐熱処理の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）						
(5)	切替回路	常用の電源から蓄電池設備への切替えの状況						
(6)		蓄電池設備と自家用発電装置併用の場合の切替えの状況						
4	電池内蔵形の蓄電池							
(1)	配線及び充電ランプ	充電ランプの点灯の状況						
(2)		誘導灯及び非常用照明兼用器具の専用回路の確保の状況						
5	電源別置形の蓄電池							
(1)	蓄電池	蓄電池等の状況	蓄電池室の防火区画等の貫通措置の状況					
(2)			蓄電池室の換気の状況					
(3)			蓄電池の設置の状況					
(4)		蓄電池の性能	電圧					
(5)			電解液比重					
(6)			電解液の温度					
(7)		充電器	充電器室の防火区画等の貫通措置の状況					
(8)			キュービクルの取付けの状況					
6	自家用発電装置							
(1)	自家用発電装置	自家用発電装置等の状況	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況					
(2)			発電機の発電容量					
(3)			発電機及び原動機の状況					
(4)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況					
(5)			始動用の空気槽の圧力					
(6)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況					



番号	検 査 項 目 等			対象 の有無	検査結果			状況、対策等	担当 検査 者 番号
					指摘 なし	要 是 正	既存 不適 格		
(7)	自家用発 電装置	自家用発電装置等 の状況	燃料及び冷却水の漏洩の状況						
(8)			計器類及びランプ類の指示及び点 灯の状況						
(9)			自家用発電装置の取付けの状況						
(10)			自家用発電機室の給排気の状況 (屋内に設置されている場合に限 る。)						
(11)			接地線の接続の状況						
(12)			絶縁抵抗						
(13)		自家用発電装置の 性能	電源の切替えの状況						
(14)			始動の状況						
(15)			運転の状況						
(16)			排気の状況						
(17)			コンプレッサー、燃料ポンプ、冷 却水ポンプ等の補機類の作動の状 況						
7		上記以外の検査項目等							
特記事項									
番号	検査項目等		指摘の具体的内容等		改善策の具体的内容等		改善(予定)年月		

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の6様式第二面12欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 検査対象建築物に非常用の照明装置がない場合は、この様式は省略して構いません。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。  
【注意：神奈川県内は対象の有無欄に対象であれば○を記入し、該当しない場合でも抹消する必要はありません。  
】
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第三（ろ）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、建築設備の検査方法及び判定基準別表第三（ろ）欄に掲げる検査事項について同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑪ 2(2)「照度」については、非常用の照明装置の照度測定表（別表4）を添付してください。
- ⑫ 7「上記以外の検査項目等」は、第2ただし書の規定により特定行政庁が検査項目等を追加したとき又は第2第2項の規定により検査の方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した検査項目等又は第2第2項に規定する図書に記載されている検査項目等を追加し、⑥から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目等がない場合は、7は削除して構いません。
- ⑬ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっては特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑭ 要是正とされた検査項目等（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

別表 1 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室(換気設備を設けるべき調理室等を除く。)の換気状況評価表 (A4)

[illegible]

注 1) 室ごとに単独の換気扇がある場合など、換気設備が特定されている場合は、その名称を記入する。

注 2) 「換気状況の評価」欄には、外気取入口における風量測定を行うことが最も確実であり、換気量測定を行った場合は、その測定結果を記入する。

これに代わる方法として、各室の二酸化炭素濃度の測定を行い、居住者数と測定値に矛盾がないか確認する等を行った場合には、その結果を記入する。

別表２ 換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表 (A4)

測定年月日			測定機器メーカー名			型式番号等		
室 番 (場所)	使 用 器 具	発 熱 量(kW)	換 気 型 式 (n)	必要有効換気量 (m³/h)	開口面積 (m²)	測定風速 (m/s)*注)	測定風量 (m³/h)	判 定
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正
			40 ・ 30 ・ 20 ・ 2					指摘なし ・ 要是正

注) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

別表 3 排煙風量測定記録表 (A4) \*注1)

測定年月日		測定機器メーカー名		型式番号等			
1	排煙機系統 (機器番号等)		排煙機銘板表示	排煙機の規定風量			
				最大防煙区画面積 $m^2 \times 1 \text{ or } 2 =$ $m^3/min$			
2	排 煙 口					判 定	
	階	室 名	排煙口面積 ( $m^2$ )	測定風速 ( $m/s$ ) *注2)	測定風量 ( $m^3/min$ )		規定風量 ( $m^3/min$ )
							指摘なし ・ 要是正
							指摘なし ・ 要是正
							指摘なし ・ 要是正
3	排 煙 機					判 定	
	排煙機 (番号等)	煙排出口面積 ( $m^2$ )	測定風速 ( $m/s$ ) *注2)	測定風量 ( $m^3/min$ )	規定風量 ( $m^3/min$ )		
							指摘なし ・ 要是正
4	直結エンジン(内燃エンジン)	予備電源又は直結エンジン	5 排煙系統図(排煙機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること)				
	の有無	切り替え					
	有 ・ 無	指摘なし ・ 要是正					

注 1) 本記録表は、排煙機系統ごとに記入する。

注 2) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

注 3) 自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表3 排煙風量測定記録表 (A4) \*注1)

[illegible]

別表 3 - 2 排 煙 風 量 測 定 記 録 表 （A4） 給 気 式 （ 特 殊 な 構 造 の 排 煙 設 備 ）

測定年月日		測定機器メーカー名		型式番号等	
1	給気送風機系統（機器番号等）		給気送風機銘板表示	給気送風機の性能（風量）	
				m³/min	

2	排 煙 口						判 定
	階	室 名	排煙口面積（㎡）	測定風速（m/s）*注1)	測定風量（m³/min）	規定風量（m³/min）	
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正

3	給 気 送 風 機				判 定
	吸込口面積（㎡）	測定風速（m/s）*注1)	測定風量（m³/min）	規定風量（m³/min）	
					指摘なし・要是正

4	直結エンジン（内燃エンジン）の有無	予備電源又は直結エンジンの切り替え
	有 ・ 無	指摘なし ・ 要是正

5	排煙系統図（給気送風機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること）

注 1) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

注 2) 自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表 3 - 2 排煙風量測定記録表 (A4) 給気式 (特殊な構造の排煙設備)

[illegible]



別表 3 - 3 排煙風量測定記録表 (A4) 加圧式 (加圧防排煙設備)

測定年月日		測定機器メーカー名		型式番号等	
1	給気送風機系統 (機器番号等)		給気送風機銘板表示	給気送風機の性能 (風量)	
				m <sup>3</sup> /min	

2	遮 煙 開 口 部 ・ 空 気 逃 し 口							判 定
	階	室 名	空気逃し口的方式 *注1)	測定排出風速 (m/s) *注2)	規定排出風速 (m/s) *注3)	算定式 *注3)	遮煙開口部の高さ (m)	
			1.自然方式 <input type="checkbox"/> 2.機械方式 <input type="checkbox"/> 3.併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし ・ 要是正
			1.自然方式 <input type="checkbox"/> 2.機械方式 <input type="checkbox"/> 3.併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし ・ 要是正
			1.自然方式 <input type="checkbox"/> 2.機械方式 <input type="checkbox"/> 3.併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし ・ 要是正
			1.自然方式 <input type="checkbox"/> 2.機械方式 <input type="checkbox"/> 3.併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし ・ 要是正

3	直結エンジン (内燃エンジン)	予備電源又は直結エンジン
	の有無	切り替え
	有 ・ 無	指摘なし ・ 要是正

注 1) 「空気逃し口的方式」欄には、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れる。

注 2) 「測定排出風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

注 3) 隣接室を区画する当該区画の仕様及び隣接室の仕様に応じて、規定排出風速Vの算定式を以下の①から③のいずれかを選択し、「算定式」欄に記入する。また、当該算定式により排出風速を算出し、「規定排出風速」欄に記入する。この場合において、Vは排出風速、Hは遮煙開口部の高さを表す。

$$\textcircled{1} V = 2.7 \sqrt{H} \quad \textcircled{2} V = 3.3 \sqrt{H} \quad \textcircled{3} V = 3.8 \sqrt{H}$$

注 4) 自主点検等による風速測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

4	排煙系統図 (給気送風機と空気逃し口の対応関係がわかる図を記入すること)

別表 3 - 3 排煙風量測定記錄表 (A4) 加壓式 (加壓防排煙設備)

[illegible]

別表 4 非常用の照明装置の照度測定表 (A4)

測定年月日		測定機器メーカー名		型式番号等	
光源の種類	最低照度の測定場所		最低照度 (lx)	判 定	
	階	部屋・廊下等			
白 熱 灯			(lx)	指摘なし・要是正	
蛍 光 灯			(lx)	指摘なし・要是正	
LEDランプ			(lx)	指摘なし・要是正	
その他( )			(lx)	指摘なし・要是正	

(別紙)

[illegible]

注1) 「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。

注2) 「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、LEDランプ、その他の別及び電池内蔵のものにあっては、(内)と付す。

(別紙)

[illegible]

別添様式 関係写真 (A4)

部位	番号	検査項目	検査結果
			<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
写真添付		特記事項	

部位	番号	検査項目	検査結果
			<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
写真添付		特記事項	

- (注意)
- ① この書類は、検査の結果、「要是正」とされ、かつ「既存不適格」でない項目等について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目等がない場合は、この書類は省略しても構いません。
  - ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
  - ③ 「部位」欄の「番号」、「検査項目等」は、それぞれ別記第一号様式から第四号様式の番号、検査項目等に対応したものを記入して下さい。
  - ④ 「検査結果」欄は、検査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
  - ⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。